

平成20年度(1)

県政モニター アンケート報告書

テーマ「山村振興対策」

平成21年 2 月

も く じ

調査の概要	1
-------------	---

調査結果

1 観光の活性化策	3
2 定住・二地域居住の推進策	16
3 公益的機能・伝統文化の維持	28
4 自由意見	33

質問と回答	38
-------------	----

I 調査の概要

1 調査のテーマ

山村振興対策

2 調査の趣旨

県土面積の1/3を占める三河山間地域()は、人口の減少や高齢化の急激な進行、地域の主産業である農林業の停滞など大変厳しい状況にあり、その振興は県全体の大きな課題となっています。

一方、新東名高速道路や三遠南信自動車道など三河山間地域の立地条件を大きく変化させるプロジェクトの進展や、田舎暮らしに対する関心の高まりなど、新たな動きもみられます。

そこで県では、これらの動向を踏まえた三河山間地域の新たな将来像を描き、その実現に向けた重点的な取組の方向性を明らかにする「山村振興ビジョン」を策定することとしていますが、策定にあたって県政モニターの皆様にご意見をお聞きしました。

()【三河山間地域】

岡崎市(旧額田町の地域)、豊田市(旧藤岡町・旧小原村・旧足助町・旧下山村・旧旭町・旧稲武町の地域)、新城市、設楽町、東栄町、豊根村

3 調査対象

県政モニター 498人 (平成20年6月29日現在)

内訳

区 分	計		名古屋地域	尾張地域	三河地域	
	人 員	構 成 比				
総 数	498人	100.0%	153人	189人	156人	
性 別	男 性	243	48.8	75	91	77
	女 性	255	51.2	78	98	79
年 代 別	20 代	74	14.9	21	27	26
	30 代	110	22.1	32	44	34
	40 代	83	16.7	28	30	25
	50 代	79	15.9	24	29	26
	60 代 以上	152	30.4	48	59	45

4 調査期間

平成20年6月30日から平成20年7月14日まで

5 調査方法

郵送・インターネット

6 回答者数

485人 (回収率 97.4%)

記号・符号・用語の説明

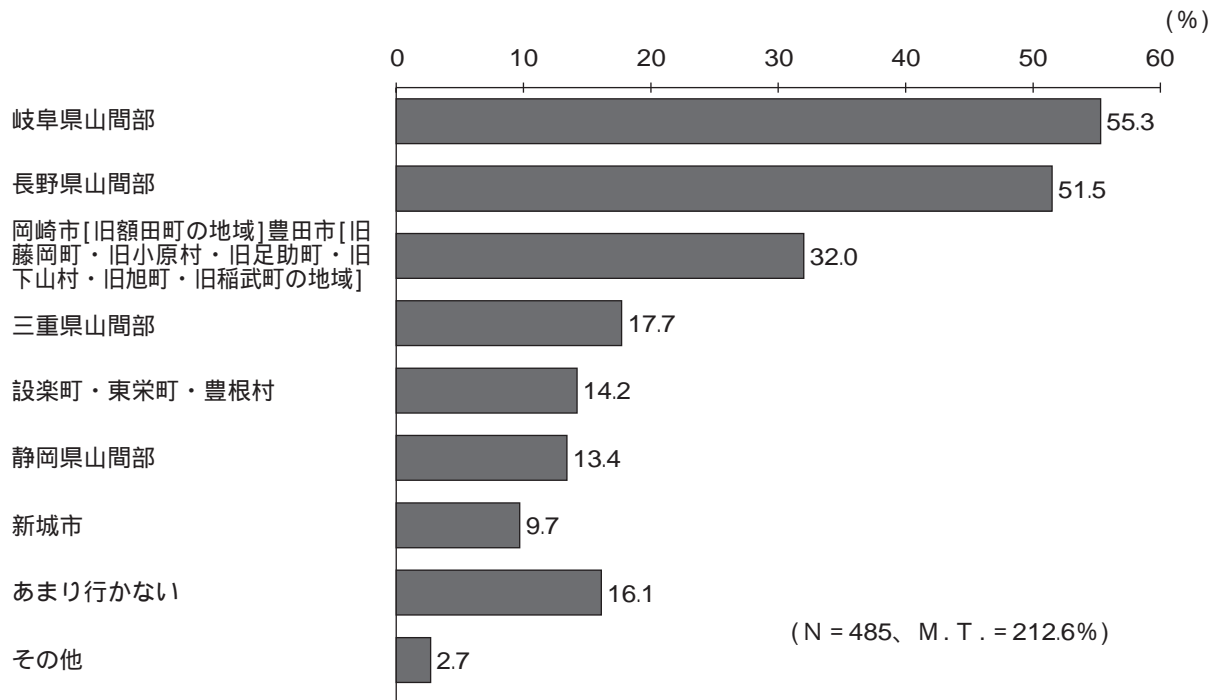
- (1) N (Number of Cases の略) は比例算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- (2) M.T.(Multiple Total) は複数回答を認める質問に対する回答の比率の合計を示す。(無回答者の数値は含まない。)
- (3) (-) は該当数値のないことを示す。

II 調査結果

1 観光の活性化策

問1 あなたは、山や高原などの山間地域を旅行やレジャーで訪れる場合、どちらの地域に行くことが多いですか。よく訪れる地域を選んで下さい。なお、山間地域に現在お住まいの方は、下記1～9の選択肢のうち、自らが居住している市町村が含まれる選択肢以外をお選びください。

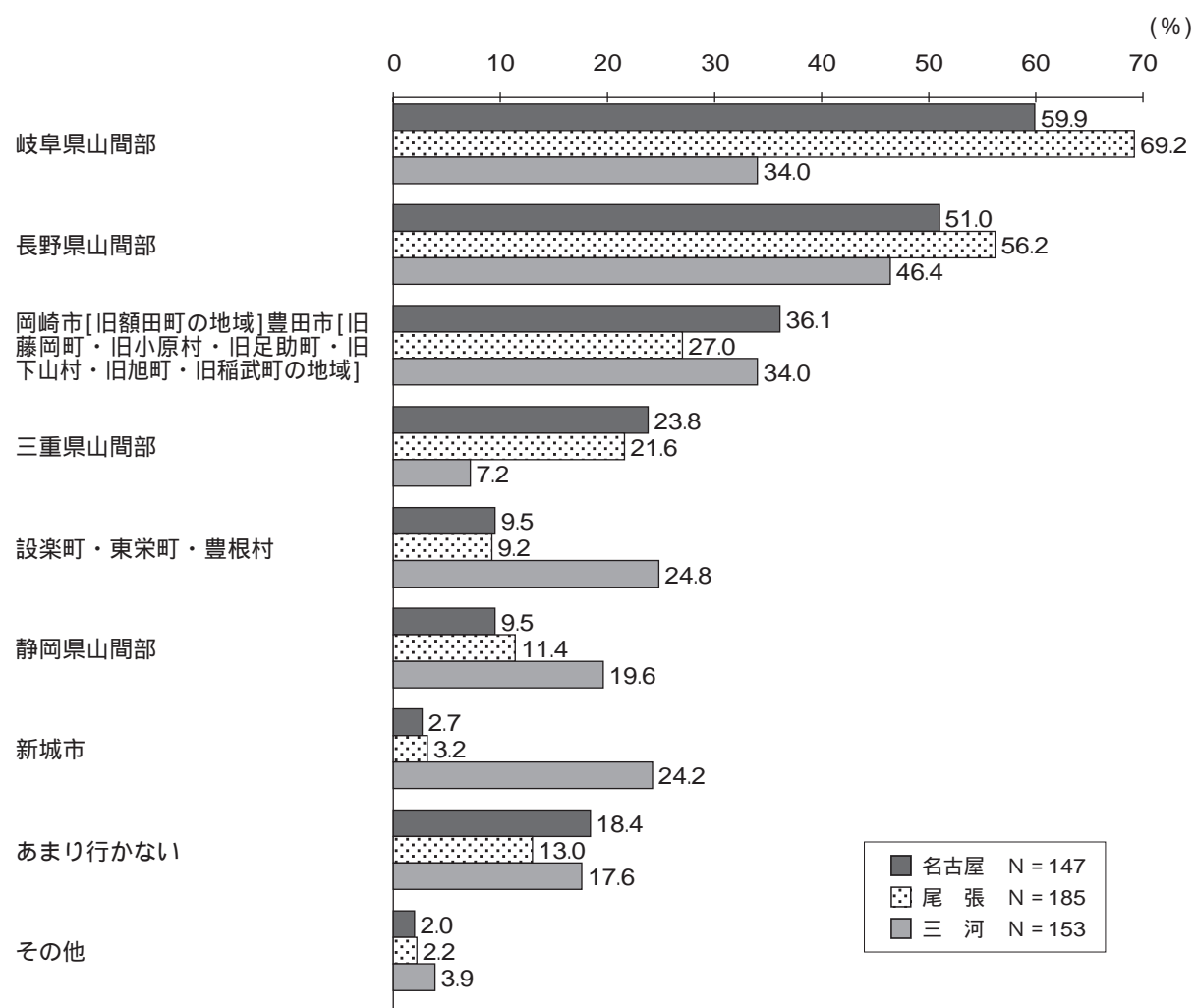
(回答は3つまで)



山や高原などの山間地域を旅行やレジャーで訪れる場合、どちらの地域に行くことが多いかを尋ねたところ、「岐阜県山間部」が55.3%、「長野県山間部」が51.5%、「岡崎市[旧額田町の地域]豊田市[旧藤岡町・旧小原村・旧足助町・旧下山村・旧旭町・旧稲武町の地域]」が32.0%などとなっている。

地域別にみると、名古屋地域と尾張地域では、「岐阜県山間部」と答えた人の割合が最も高く、三河地域では「長野県山間部」と答えた人の割合が最も高くなっている。

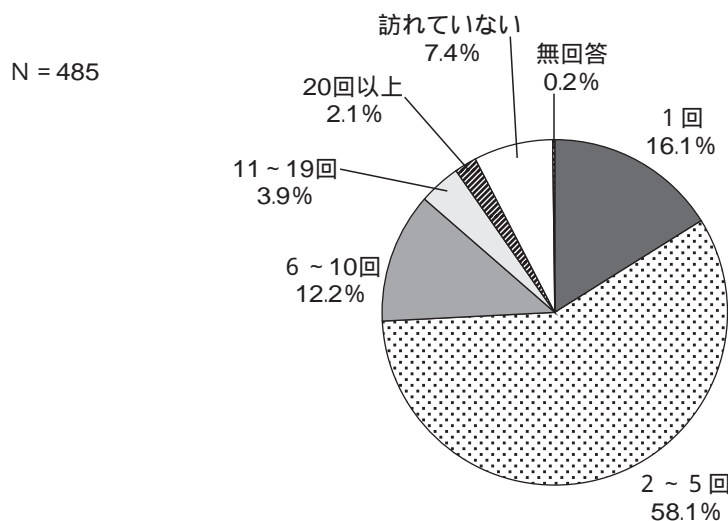
(地域別)



名古屋地域や尾張地域からは「設楽町・東栄町・豊根村」や「新城市」の山間地域を訪れる人が少ないことから、新東名高速道路などの整備の進展を踏まえながら、名古屋地域や尾張地域からこれらの地域への誘客を図っていくことが重要だと考えられます。

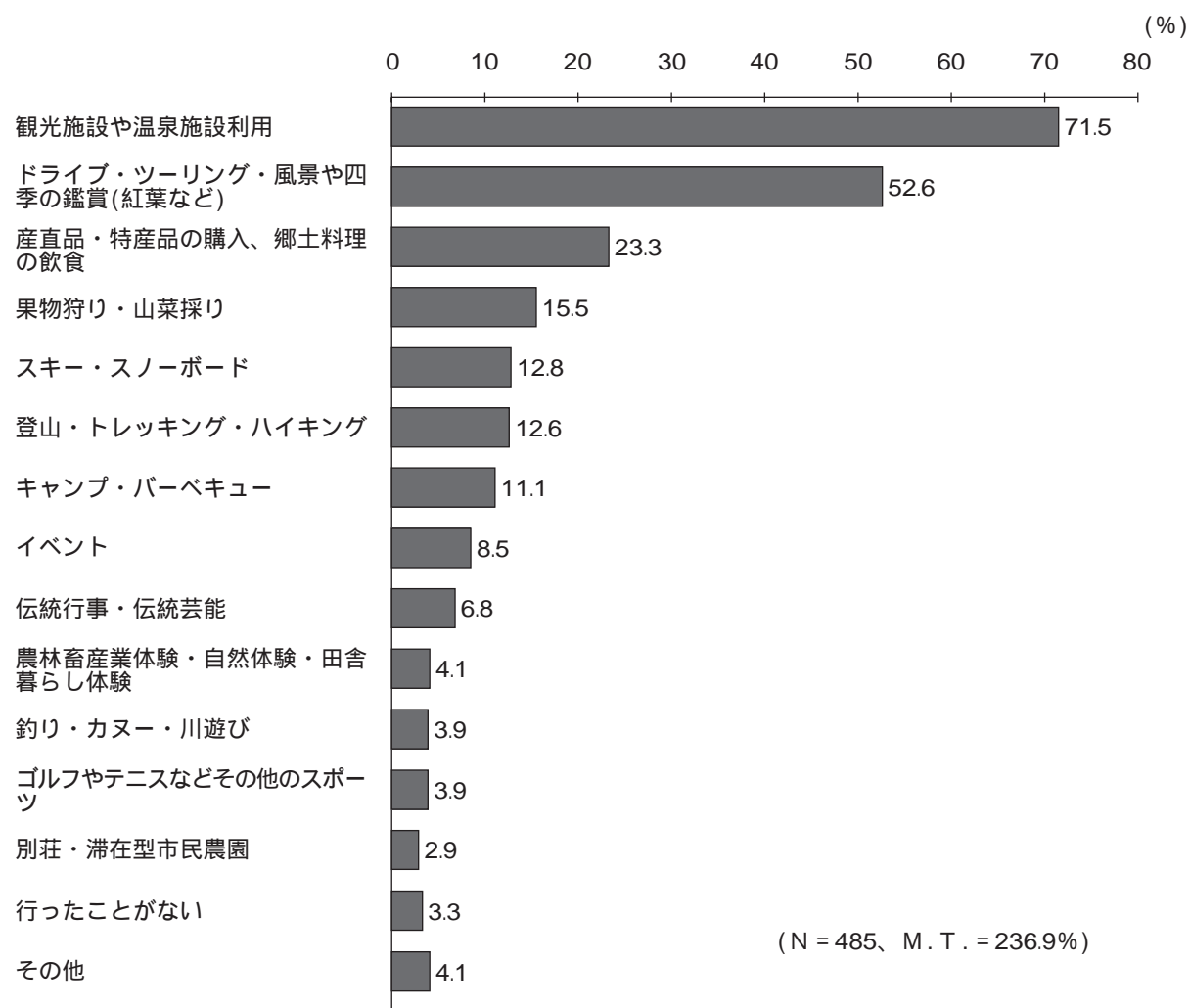
(地域振興部地域政策課山村振興室)

問2 あなたは山間地域をここ数年の間に、旅行やレジャーで年間平均何回ぐらい訪れましたか。
なお、三河山間地域に現在お住まいの方は、居住する地域以外を訪れた場合の回数をお答えください。(回答は1つ)



山間地域をここ数年の間に、旅行やレジャーで年間平均何回ぐらい訪れたかを尋ねたところ、1回が16.1%、2～5回が58.1%、6～10回が12.2%などとなっている。また、訪れていないと答えた人の割合は7.4%となっている。

問3 山間地域を訪れる旅行やレジャーの内容は何ですか。(回答は3つまで)

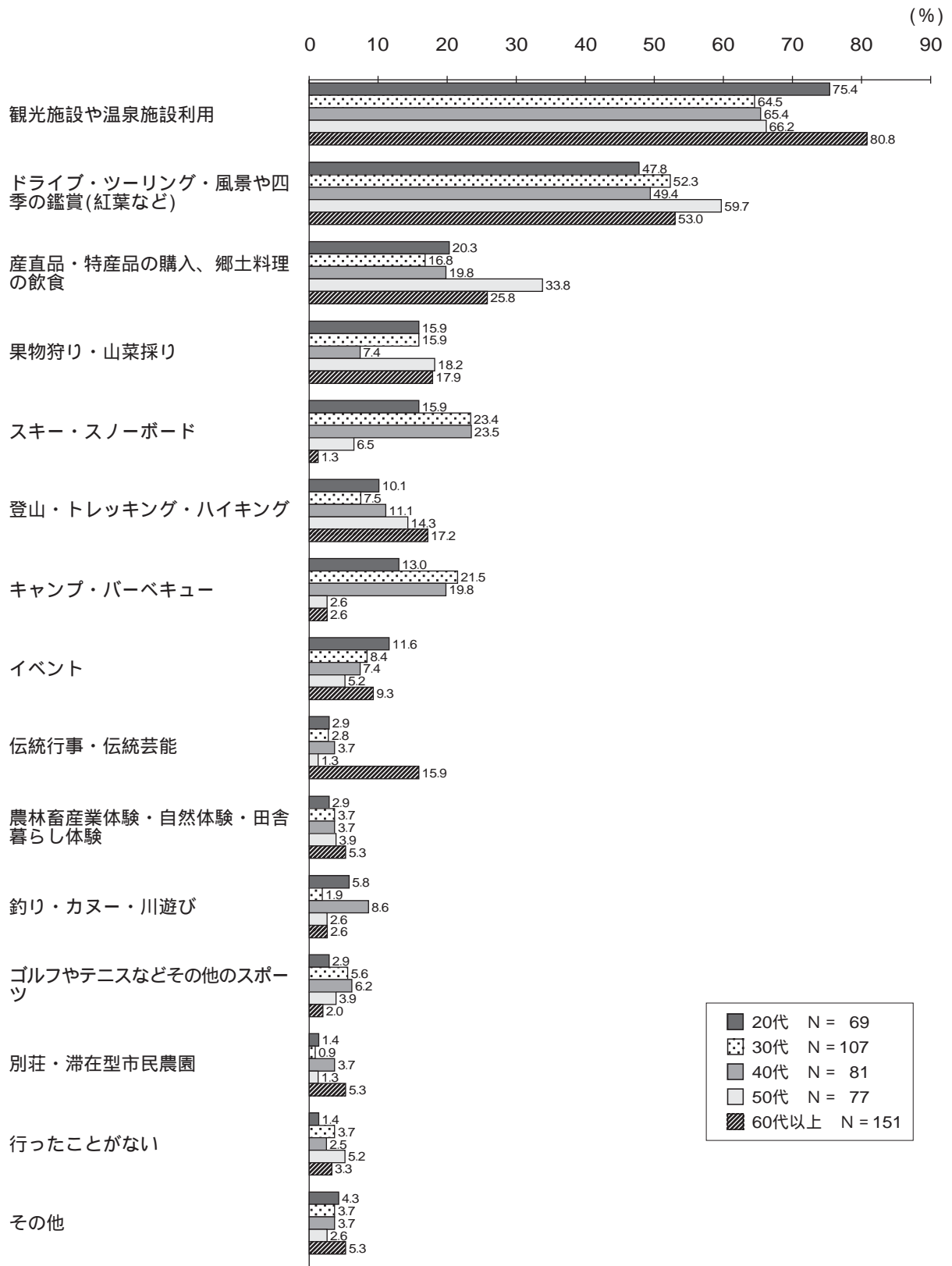


山間地域を訪れる旅行やレジャーの内容を尋ねたところ、「観光施設や温泉施設の利用」が71.5%、「ドライブ・ツーリング・風景や四季の鑑賞（紅葉など）」が52.6%、「産直品・特産品の購入、郷土料理の飲食」が23.3%などとなっている。

年代別にみると、すべての年代で「観光施設や温泉施設の利用」と答えた人の割合が最も高く、次いで「ドライブ・ツーリング・風景や四季の鑑賞（紅葉など）」と答えた人の割合が高くなっている。

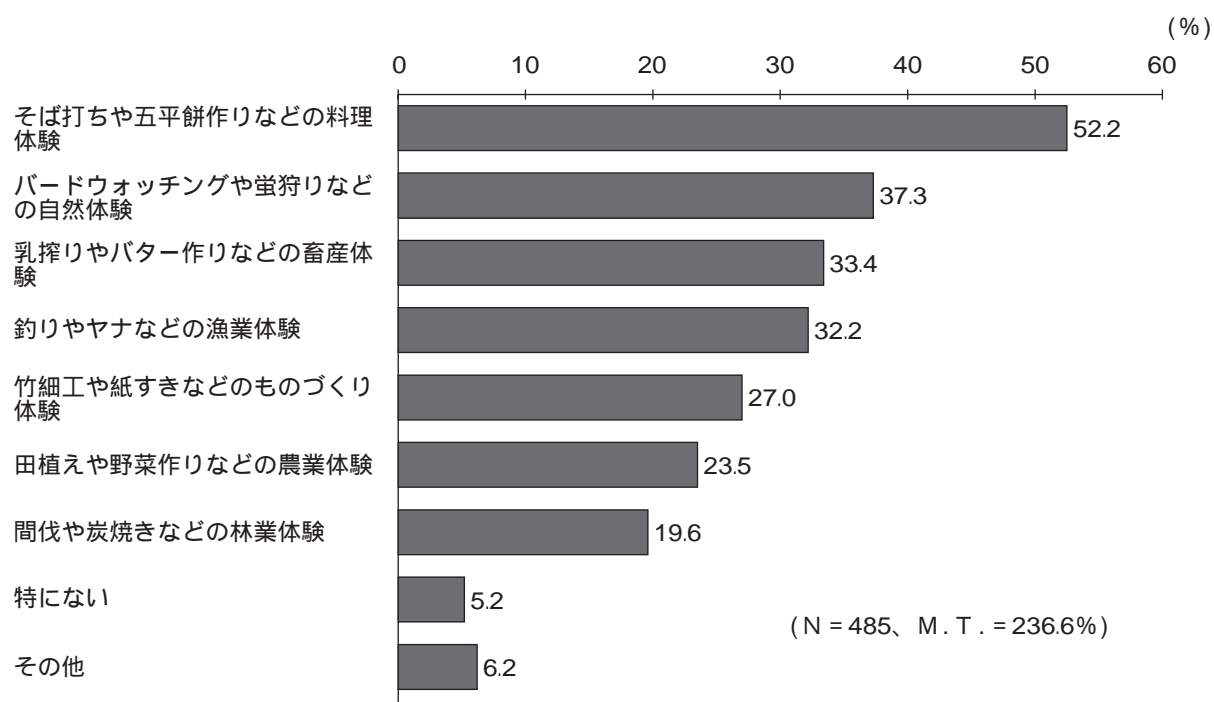
また、「産直品・特産品の購入、郷土料理の飲食」と答えた人の割合は50代が、「スキー・スノーボード」、「キャンプ・バーベキュー」と答えた人の割合は30代、40代が、「伝統行事・伝統芸能」と答えた人の割合は60代以上が、他の年代と比較して高くなっている。

(年代別)



問4 あなたは、山間地域ならではの体験メニューとしてやってみたいことは何ですか。

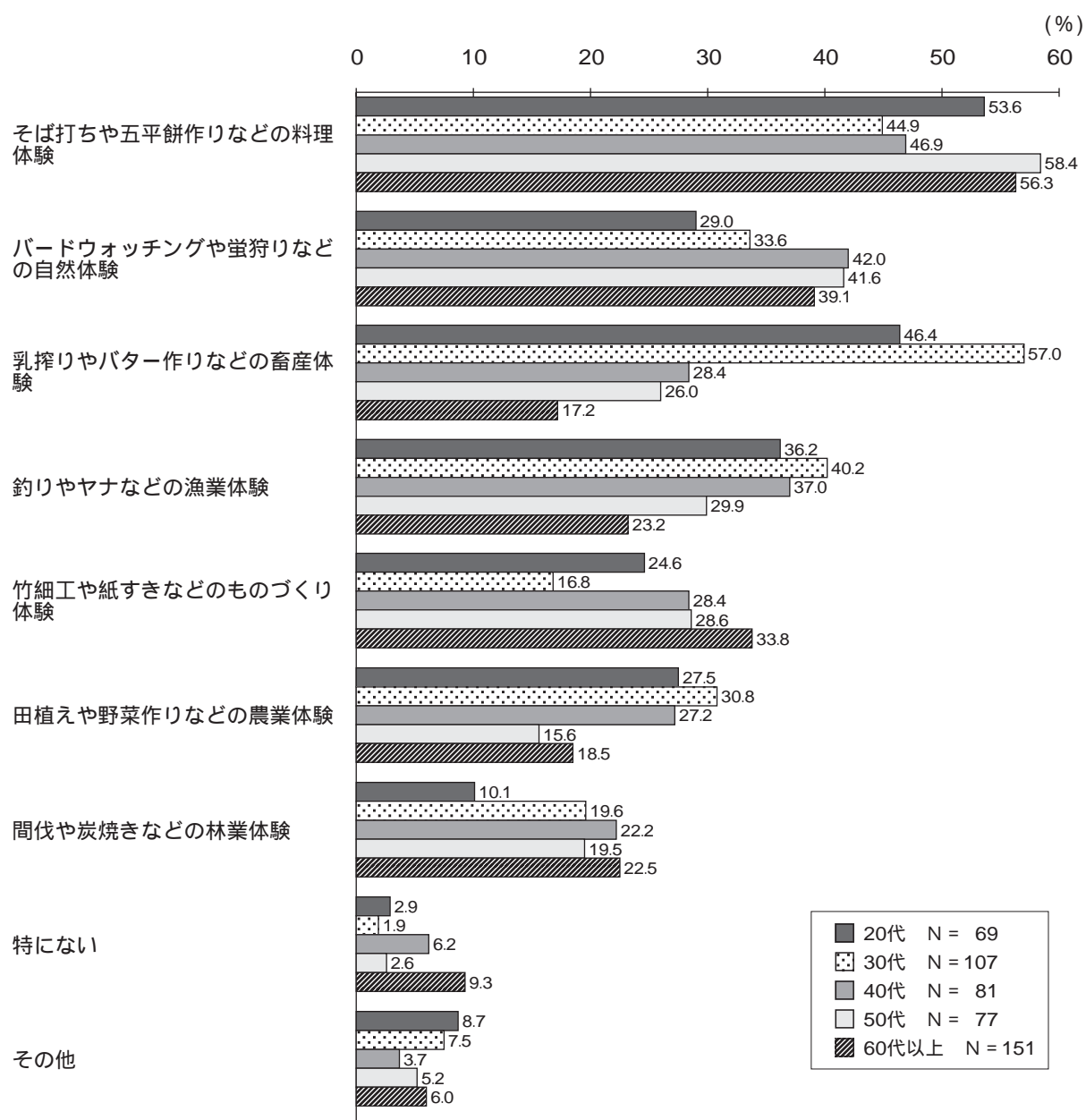
(回答は3つまで)



山間地域ならではの体験メニューとしてやってみたいことは何かを尋ねたところ、「そば打ちや五平餅作りなどの料理体験」が52.2%、「バードウォッチングや虫狩りなどの自然体験」が37.3%、「乳搾りやバター作りなどの畜産体験」が33.4%、「釣りやヤナなどの漁業体験」が32.2%などとなっている。

年代別にみると、30代以下では「乳搾りやバター作りなどの畜産体験」と答えた人の割合が、他の年代に比べて高くなっている。

(年代別)

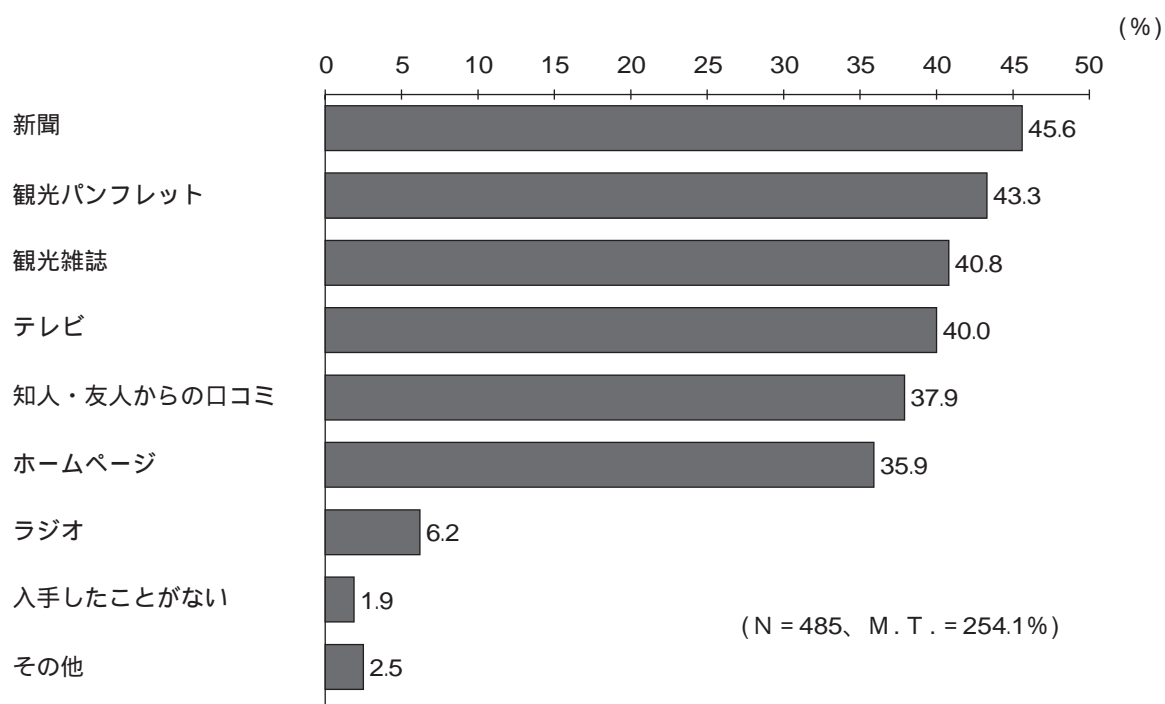


三河山間地域の観光を活性化するためには、地域の特性や資源を生かした観光商品を三河山間地域が主体となって企画立案する着地型観光を促進する必要があると考えられます。

(地域振興部地域政策課山村振興室)

問5 あなたはどのような媒体から山間地域の観光情報を入手することが多いですか。

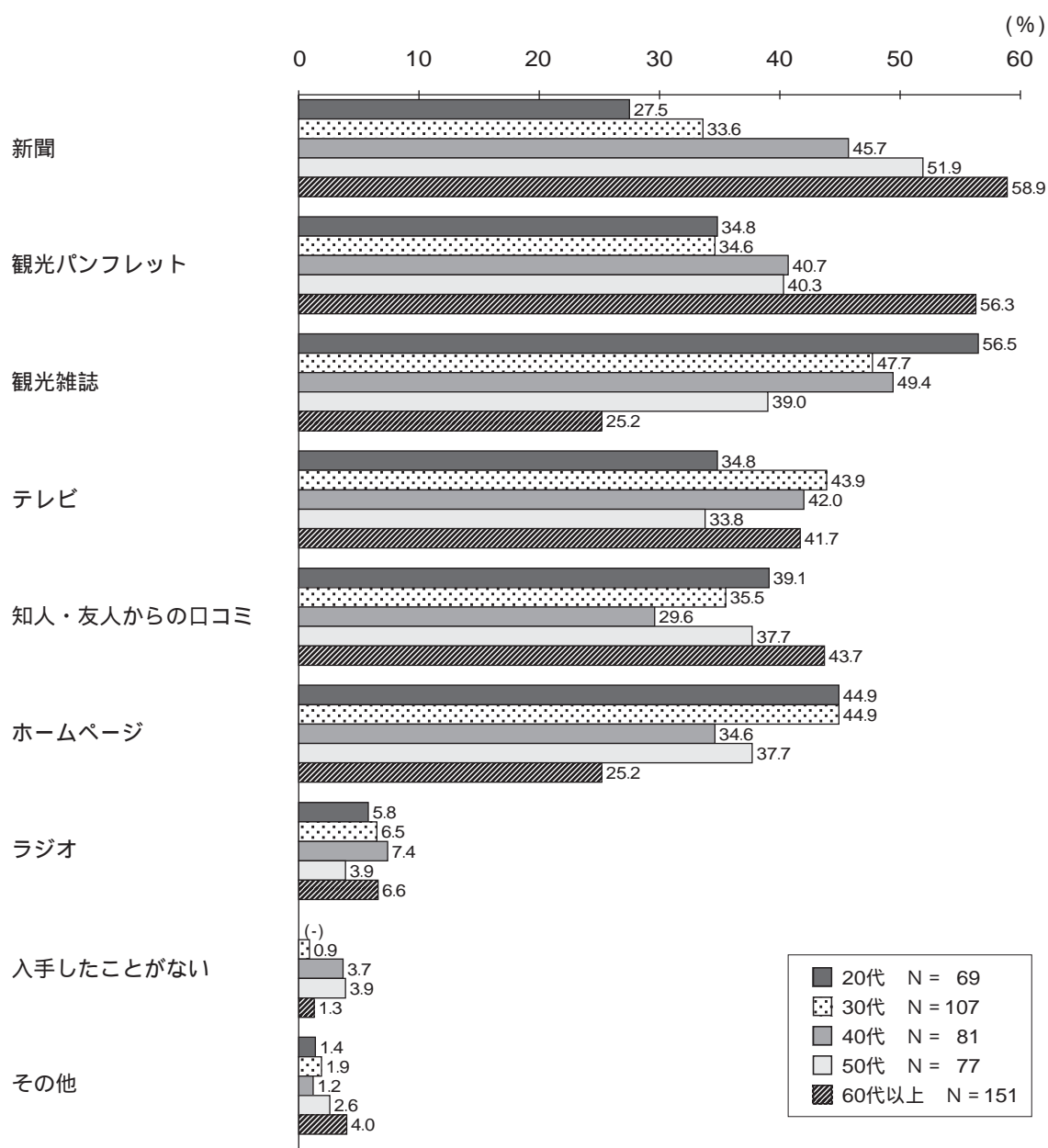
(回答は3つまで)



どのような媒体から山間地域の観光情報を入手することが多いかを尋ねたところ、「新聞」が45.6%、「観光パンフレット」が43.3%、「観光雑誌」が40.8%、「テレビ」が40.0%、「知人・友人からの口コミ」が37.9%、「ホームページ」が35.9%などとなっている。

年代別にみると、「新聞」や「観光パンフレット」から観光情報を入手している人は、年代が高くなるほど比較的多くなり、「観光雑誌」や「ホームページ」から観光情報を入手している人は、年代が低くなるほど比較的多くなっている。

(年代別)

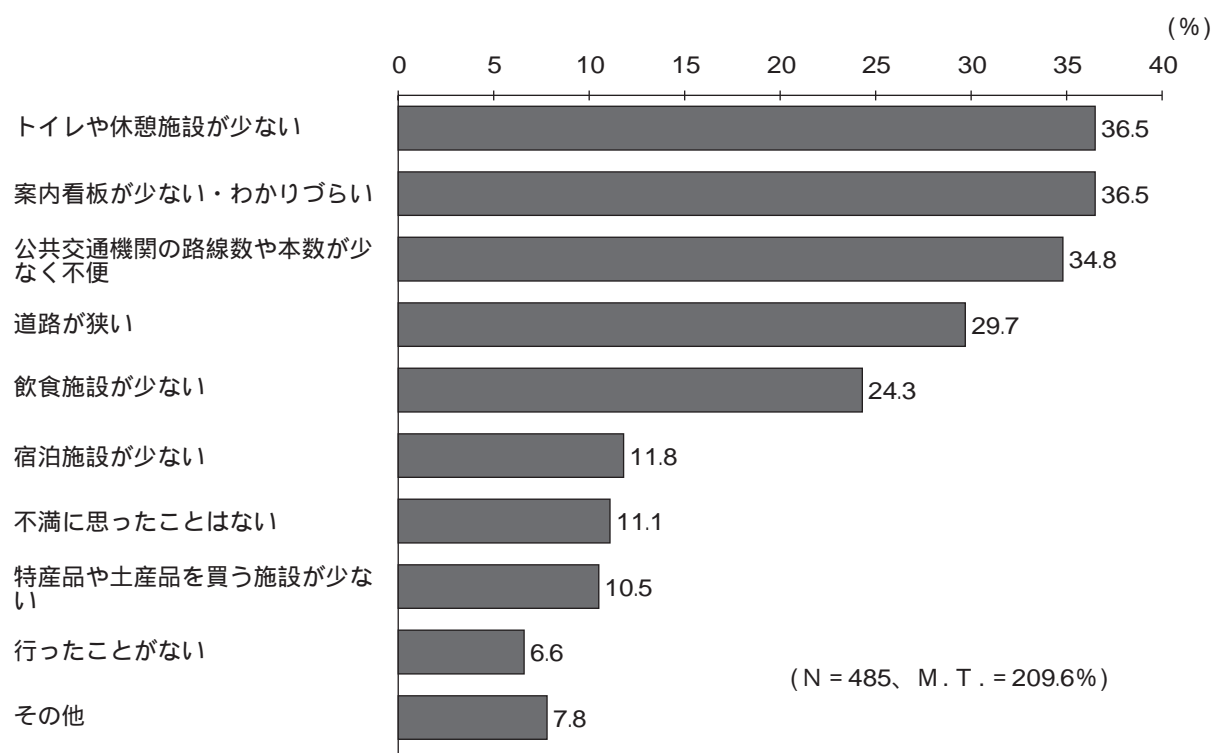


年代により観光情報を入手している媒体が大きく異なっていることから、こうした状況を踏まえた上で、効果的な情報発信をしていく必要があると考えられます。

(地域振興部地域政策課山村振興室)

問6 あなたは、三河山間地域を旅行やレジャーで訪れたとき、不満に思ったことは何ですか。

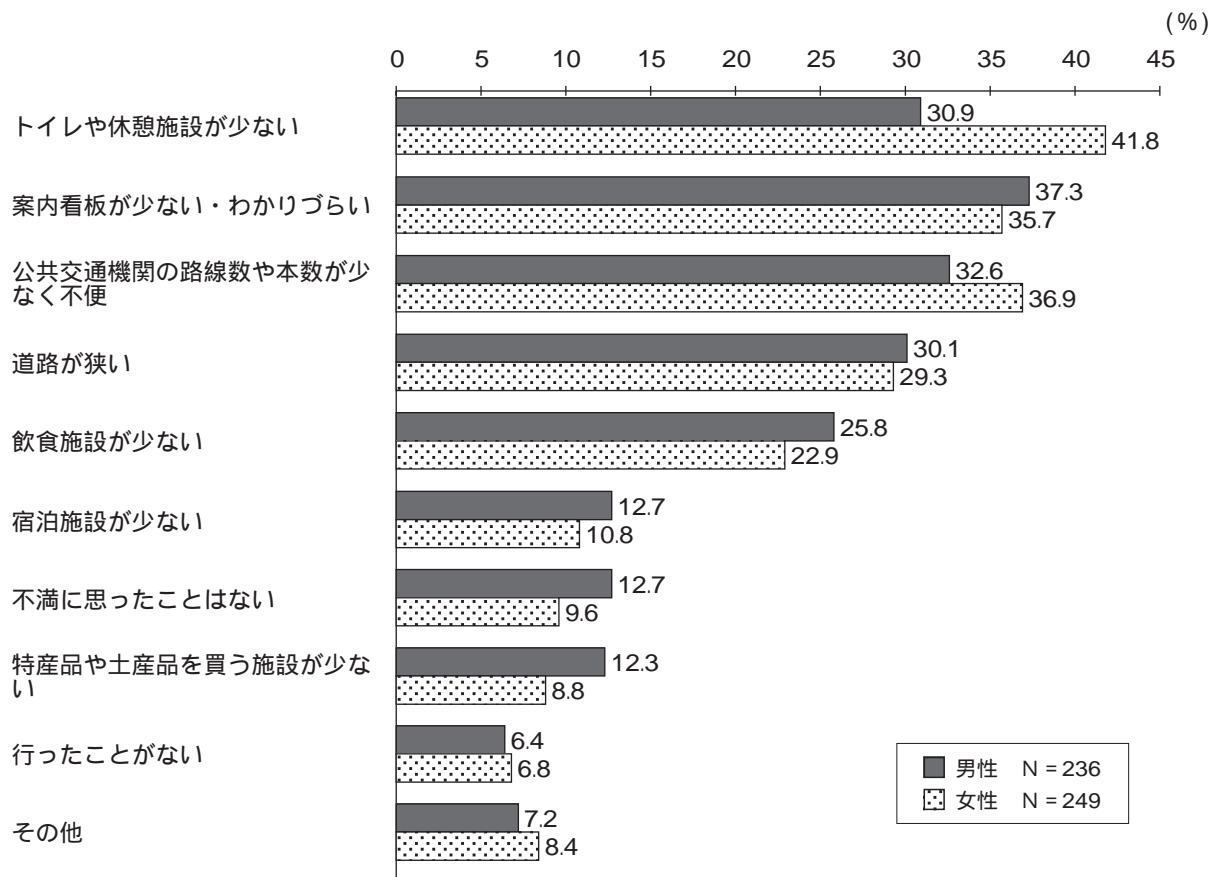
(回答は3つまで)



三河山間地域を旅行やレジャーで訪れたとき、不満に思ったことは何かを尋ねたところ、「トイレや休憩施設が少ない」、「案内看板が少ない・わかりづらい」が36.5%、「公共交通機関の路線数や本数が少なく不便」が34.8%などとなっている。また、「不満に思ったことはない」が11.1%となっている。

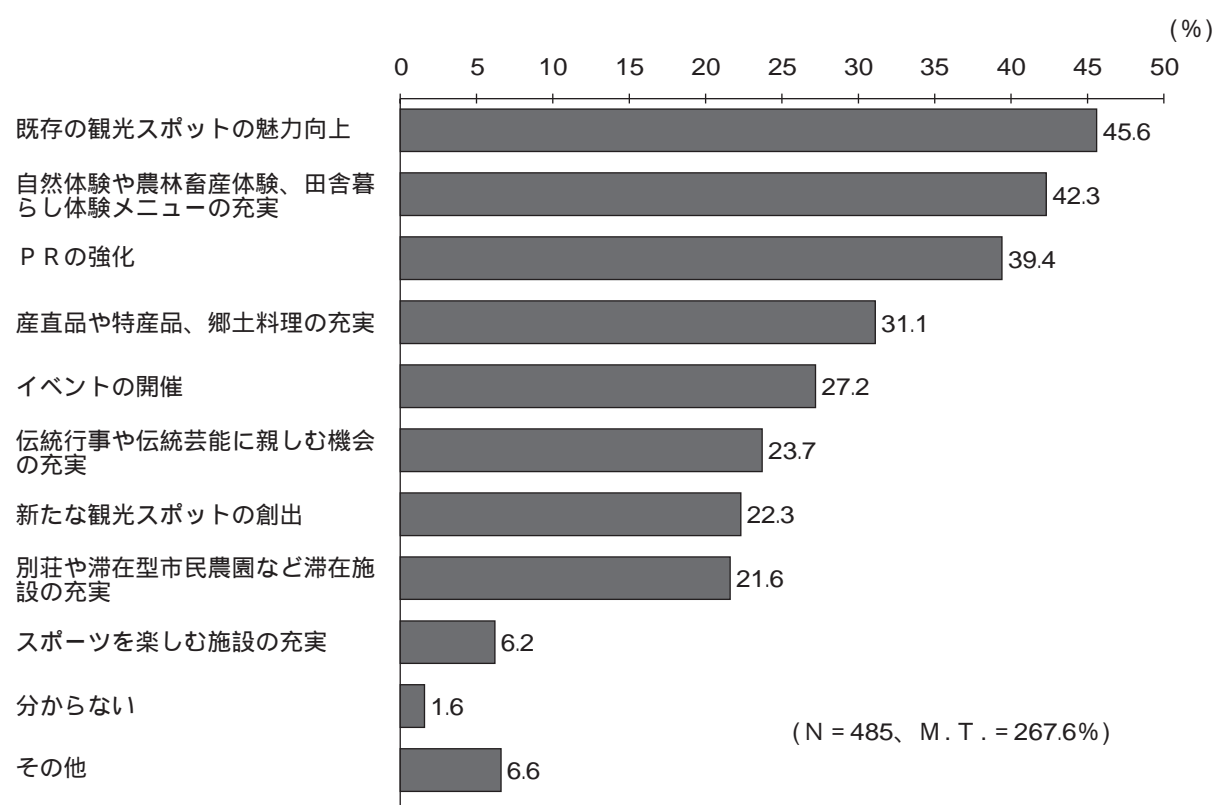
男女別にみると、男性では「案内看板が少ない・わかりづらい」、女性では「トイレや休憩施設が少ない」と答えた人の割合が最も高くなっている。

(男女別)



問7 三河山間地域を訪れる人を増やすためには、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。

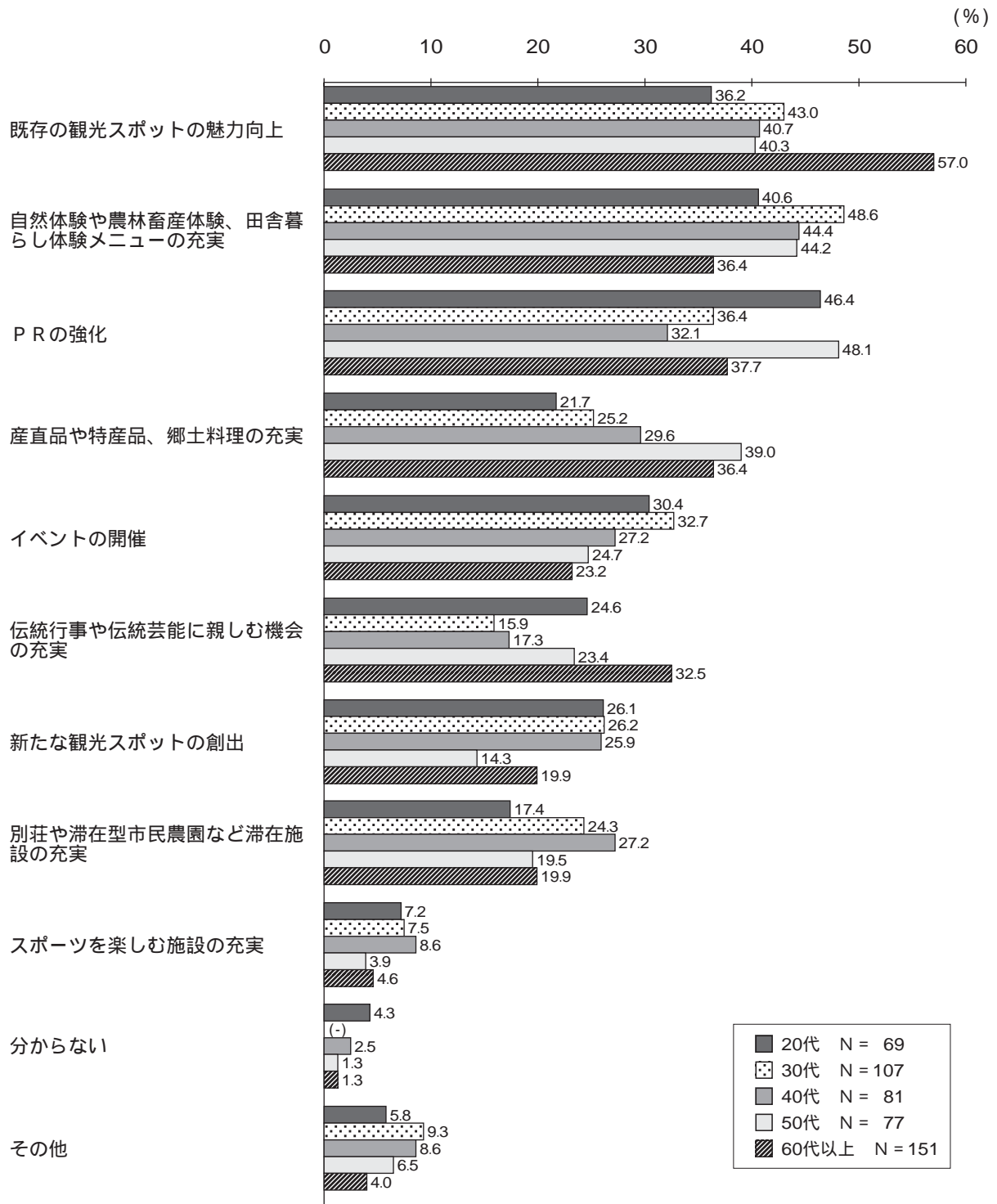
(回答は3つまで)



三河山間地域を訪れる人を増やすためには、どのようなことに取り組むべきだと思うかを尋ねたところ、「既存の観光スポットの魅力向上」が45.6%、「自然体験や農林畜産体験、田舎暮らし体験メニューの充実」が42.3%、「P Rの強化」が39.4%、「産直品や特産品、郷土料理の充実」が31.1%などとなっている。

年代別にみると20代、50代では「P Rの強化」と答えた人の割合が高く、30代、40代では「自然体験や農林畜産体験、田舎暮らし体験メニューの充実」と答えた人の割合が高く、60代以上では「既存の観光スポットの魅力向上」と答えた人の割合が高くなっている。

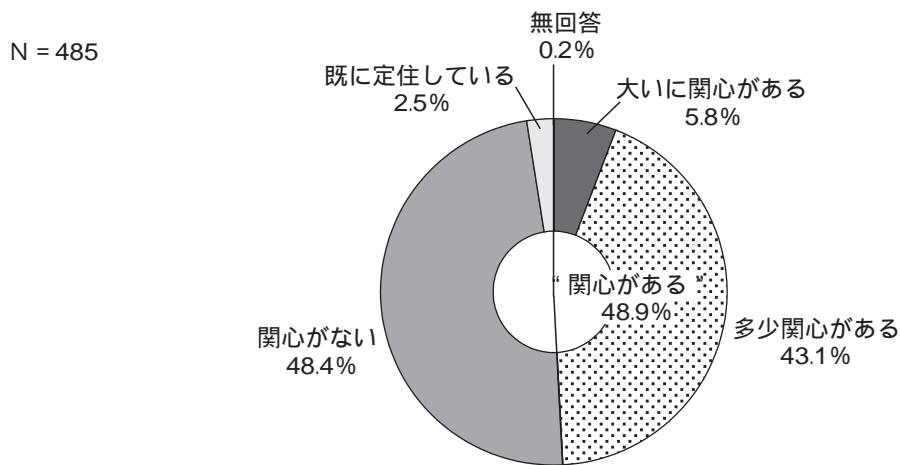
(年代別)



山間地域を訪れる旅行やレジャーの内容を尋ねた問3においては、「農林畜産業体験・自然体験・田舎暮らし体験」と答えた人の割合は4.1%ですが、訪れる人を増やすための取組として、これらの体験メニューの充実と答えた人の割合は42.3%もあります。体験メニューに対する関心の高さを、誘客に生かしていく必要があると考えられます。(地域振興部地域政策課山村振興室)

2 定住・二地域居住の推進策

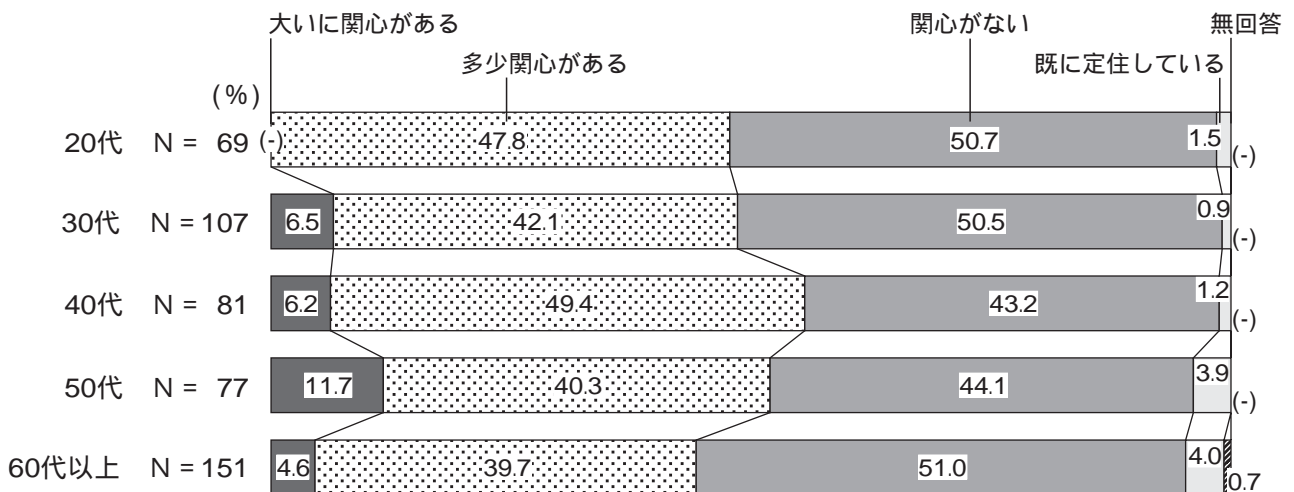
問8 あなたは、山間地域に自らが定住することに興味がありますか。(回答は1つ)



山間地域に自らが定住することに興味があるかを尋ねたところ、「大いに興味がある」5.8%と「多少興味がある」43.1%とを合わせた“興味がある”が48.9%に対し、「興味がない」は48.4%となっている。

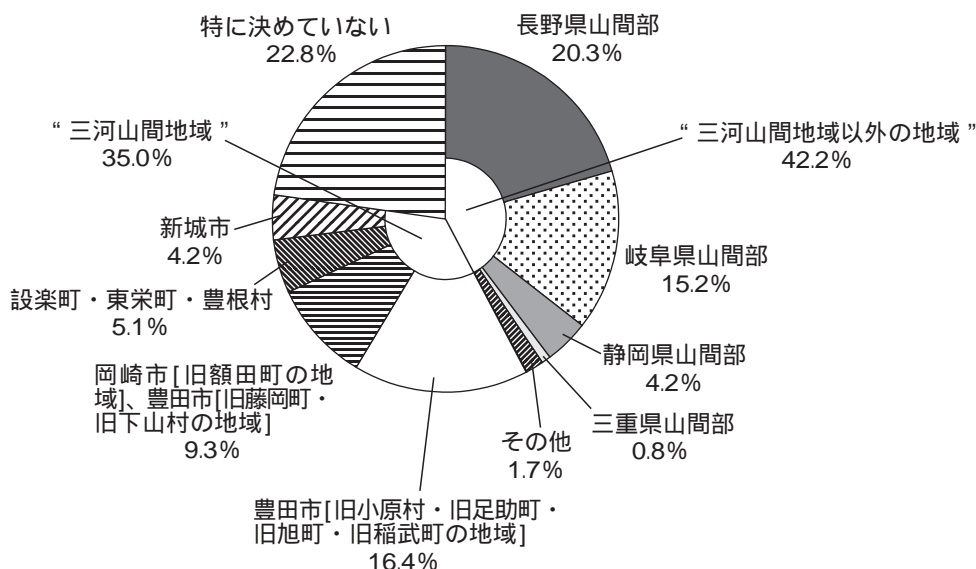
年代別にみると、「大いに興味がある」と答えた人の割合は50代が最も高くなっており、“興味がある”人の割合は40代が最も高くなっている。

(年代別)



問9 問8で1または2と答えた方に質問します。山間地域に定住をするなら希望する地域はどこですか。(回答は1つ)

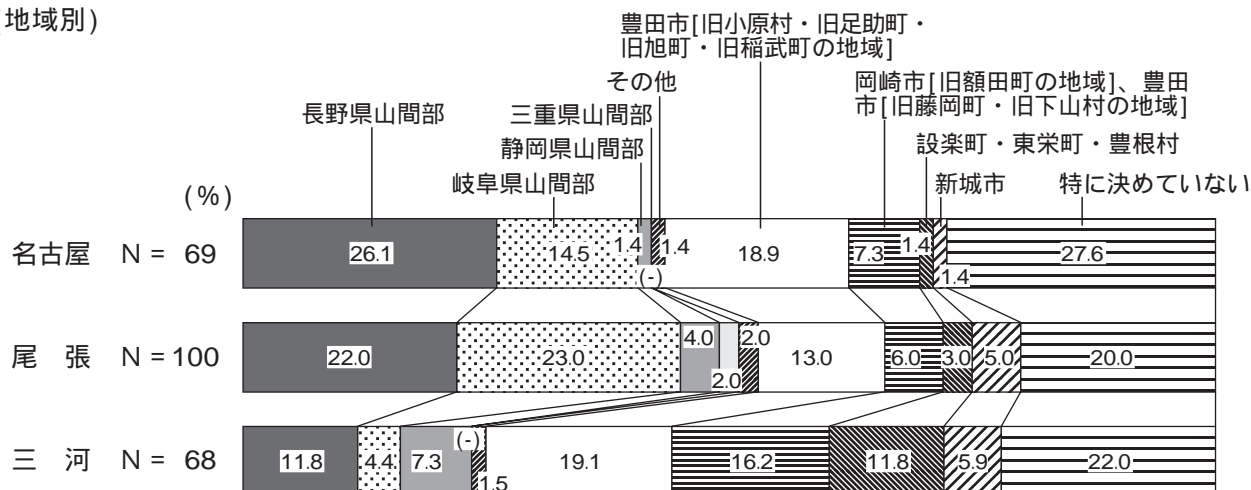
N = 237



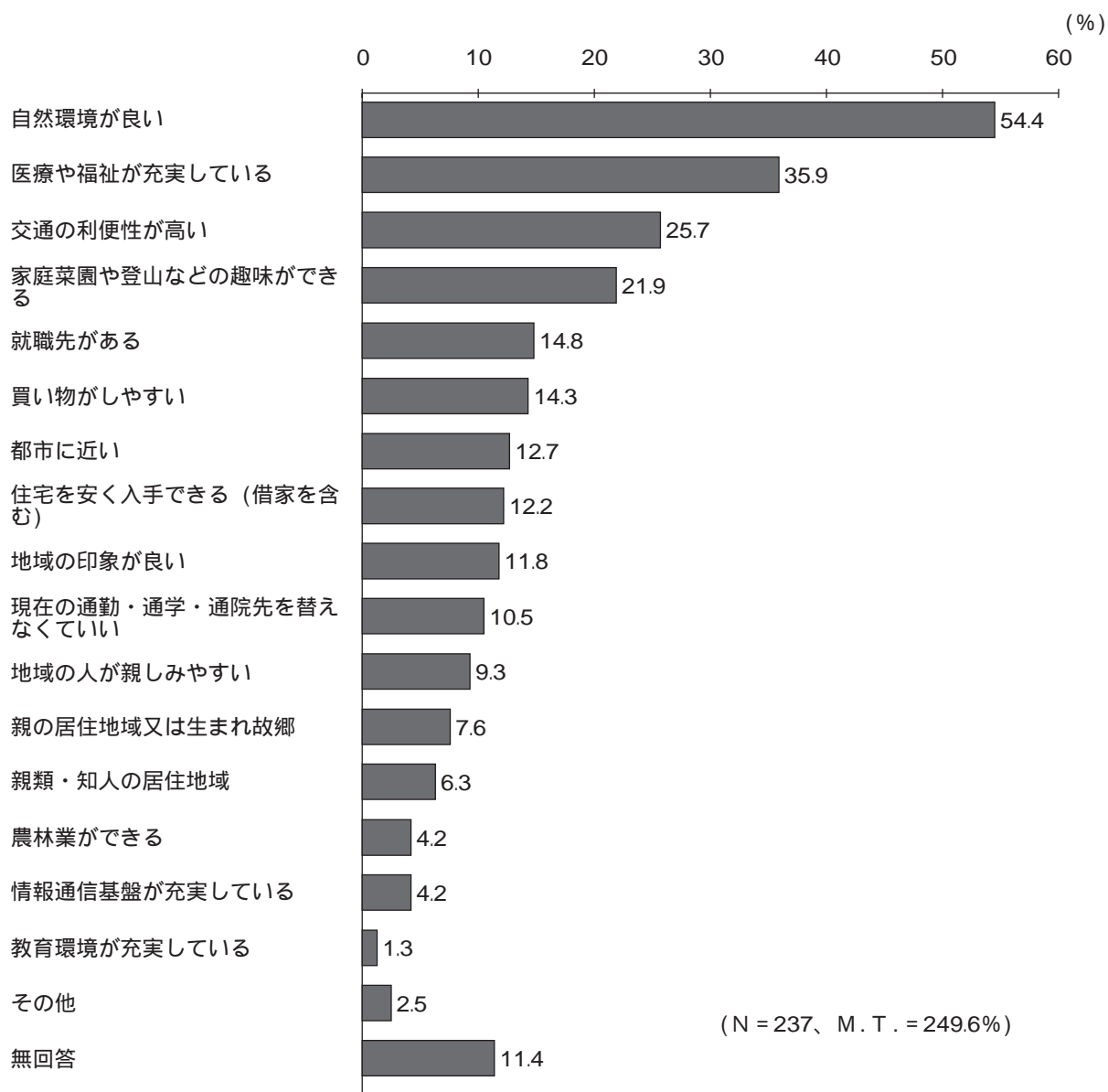
問8で“関心がある”人に、山間地域に定住するなら希望する地域はどこかを尋ねたところ、“三河山間地域以外の地域”を希望する人は42.2%で、“三河山間地域”を希望する人の35.0%よりも割合が高くなっている。また、“三河山間地域以外の地域”を希望する人の中では「長野県山間部」、「岐阜県山間部」の割合が高く、“三河山間地域”を希望する人の中では「豊田市[旧小原村・旧足助町・旧旭町・旧稲武町の地域]」の割合が最も高くなっている。

地域別にみると、名古屋地域と尾張地域で“三河山間地域以外の地域”を希望する人の割合が高く、それぞれ43.4%、53.0%（“三河山間地域”を希望する人は29.0%、27.0%）となっているのに対し、三河地域では“三河山間地域”を希望する人の割合が高く、53.0%（“三河山間地域以外の地域”を希望する人の割合は25.0%）となっている。

(地域別)



問10 問8で1または2と答えた方に質問します。山間地域に定住する地域を選定する際、重視する条件は何ですか。(回答は3つまで)

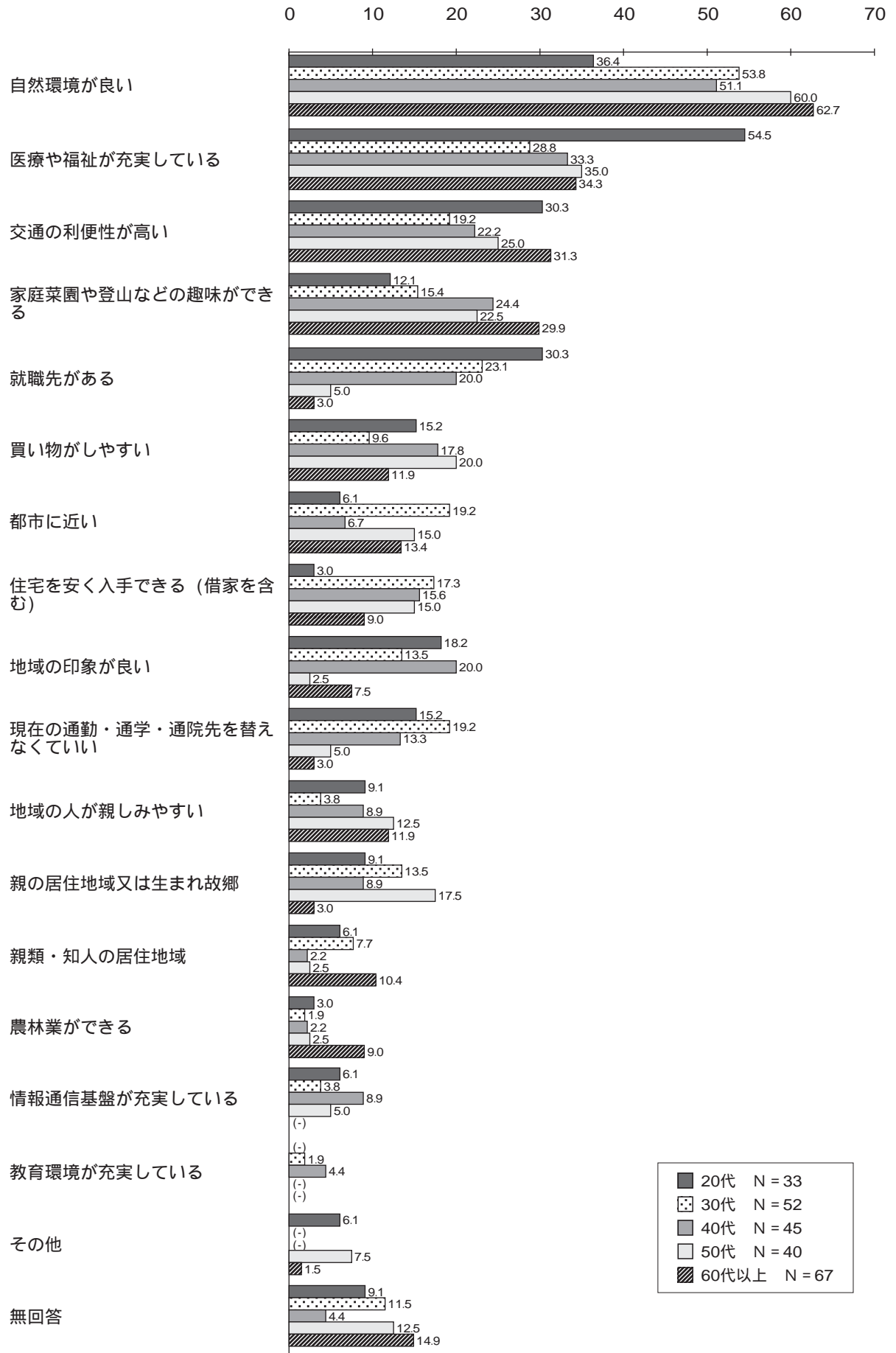


問8で「関心がある」人に、山間地域に定住する地域を選定する際、重視する条件は何かを尋ねたところ、「自然環境が良い」が54.4%、「医療や福祉が充実している」が35.9%、「交通の利便性が高い」が25.7%などとなっている。

年代別にみると、30代以上では「自然環境がよい」と答えた人の割合が最も高く、20代では「医療や福祉が充実している」と答えた人の割合が最も高くなっている。

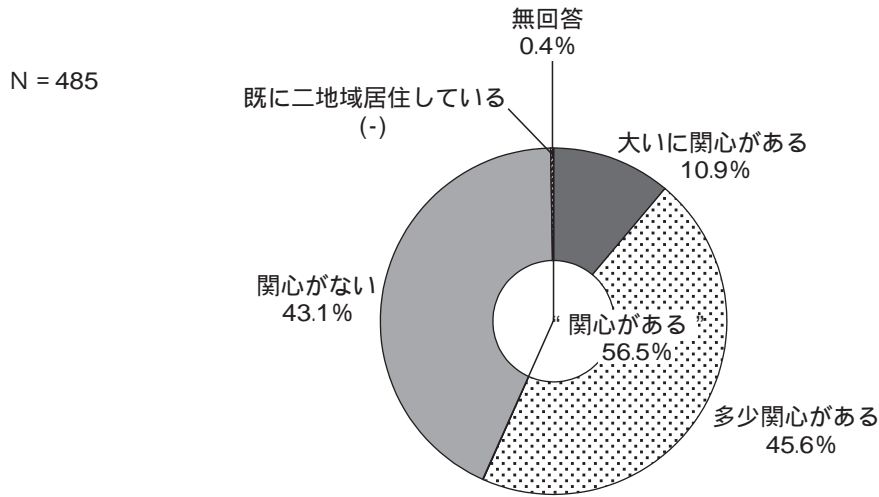
(年代別)

(%)



問11 あなたは、二地域居住に関心がありますか。(回答は1つ)

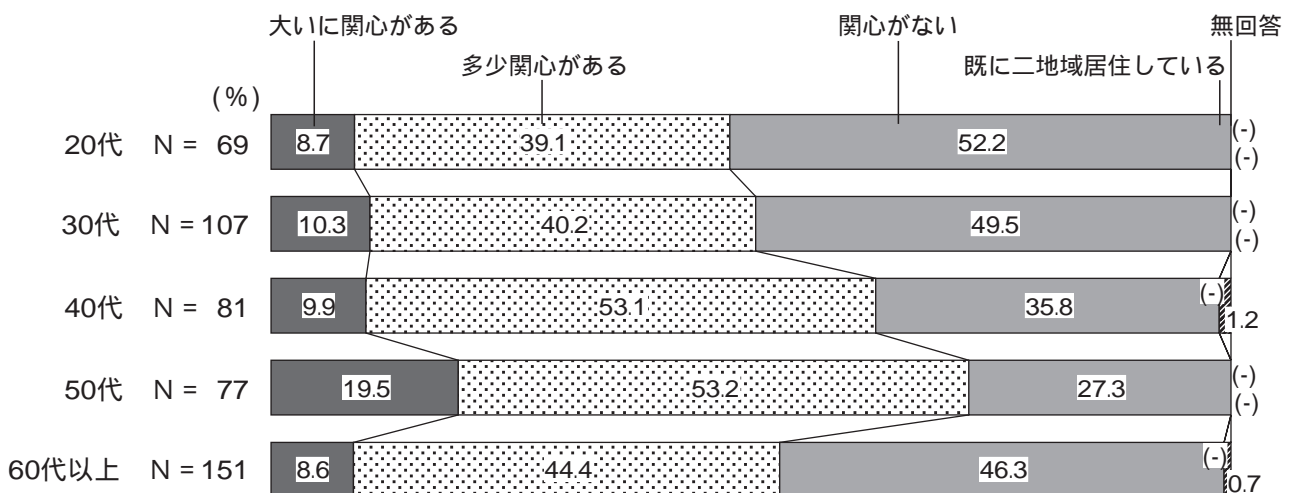
(「二地域居住」とは、現在の住居に加えて農山村等に生活拠点をもち、週末や一年のうちの一定期間を滞在すること)



「二地域居住」に関心があるかを尋ねたところ、「大いに興味がある」10.9%と「多少興味がある」45.6%とを合わせた“関心がある”が56.5%に対し、「関心がない」が43.1%となっている。

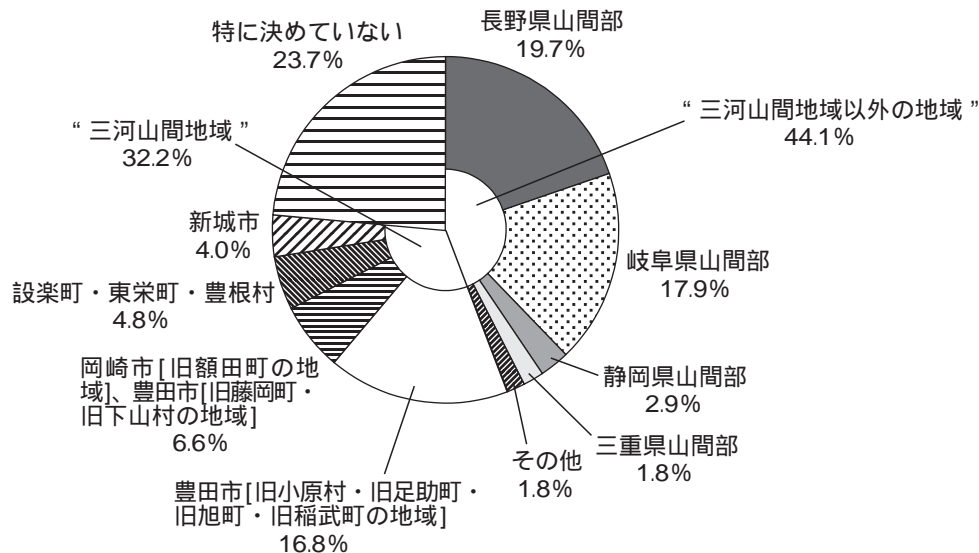
年代別にみると、「大いに興味がある」と答えた人の割合も、“関心がある”人の割合も、50代で最も高くなっている。

(年代別)



問12 問11で1または2と答えた方に質問します。二地域居住をするなら希望する地域はどこですか。(回答は1つ)

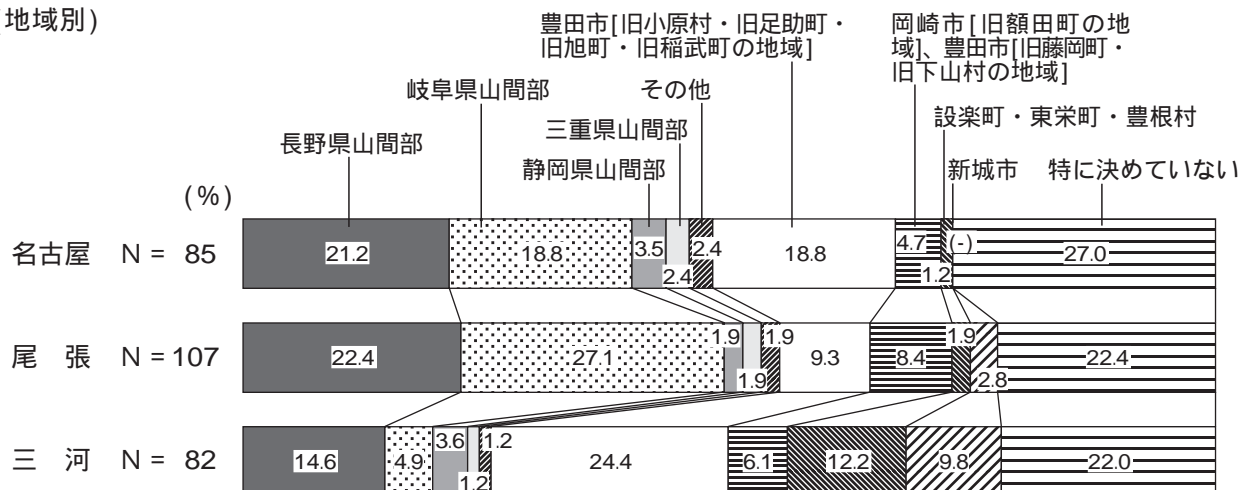
N = 274



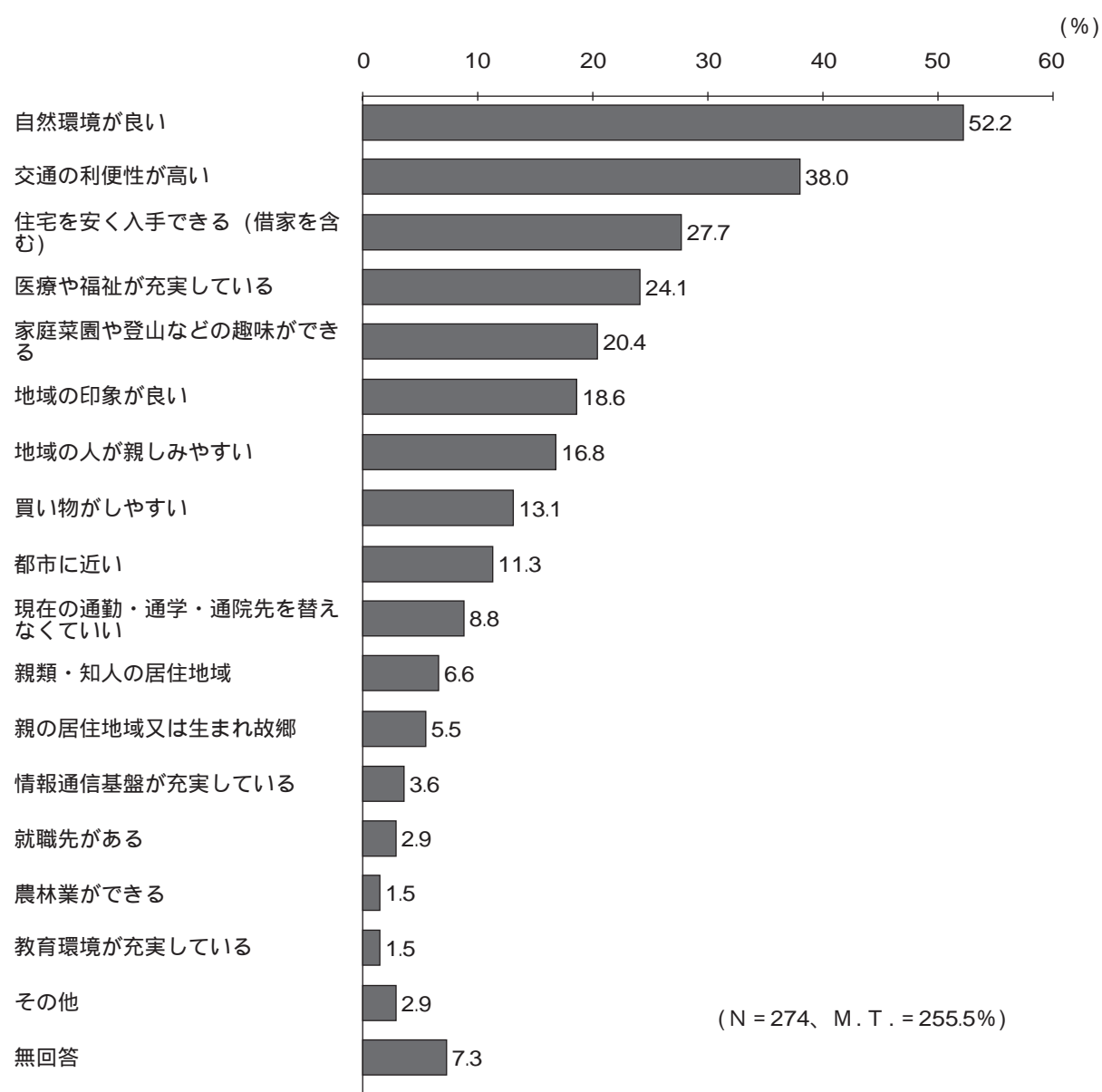
問11で、“関心がある”人に、二地域居住するなら希望する地域はどこかを尋ねたところ、“三河山間地域以外の地域”を希望する人は44.1%で、“三河山間地域”を希望する人の32.2%よりも割合が高くなっている。また、“三河山間地域以外の地域”を希望する人の中では「長野県山間部」、「岐阜県山間部」の割合が高く、“三河山間地域”を希望する人の中では「豊田市[旧小原村・旧足助町・旧旭町・旧稲武町の地域]」の割合が最も高くなっている。

地域別にみると、名古屋地域と尾張地域で“三河山間地域以外の地域”を希望する人の割合が高く、それぞれ48.3%、55.2% (“三河山間地域”を希望する人は24.7%、22.4%) となっているのに対し、三河地域では“三河山間地域”を希望する人の割合が高く、52.5% (“三河山間地域以外の地域”を希望する人の割合は25.5%) となっている。

(地域別)



問13 問11で1または2と答えた方に質問します。二地域居住をする地域を選定する際、重視する条件は何ですか（回答は3つまで）

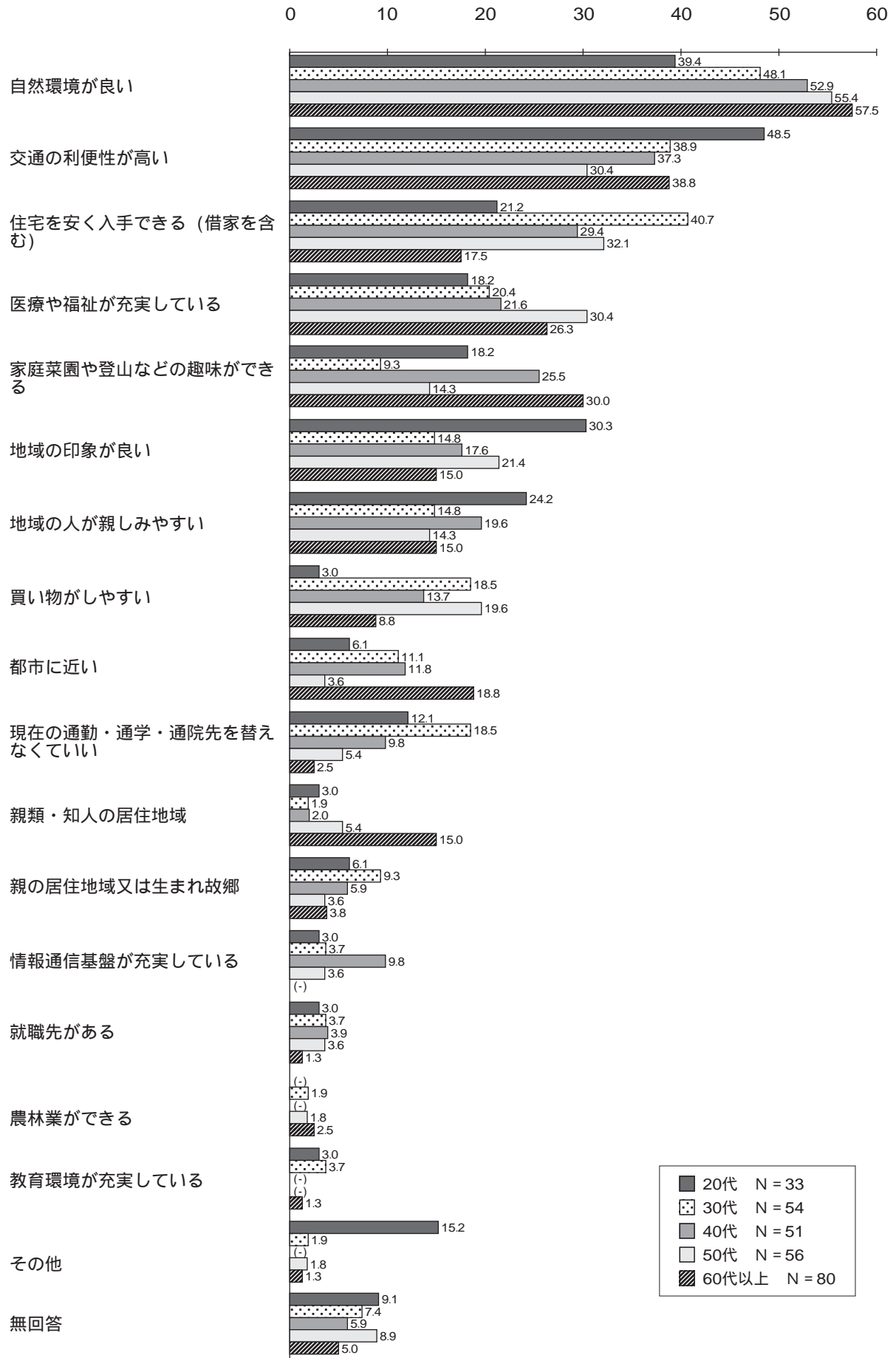


問11で、“関心がある”人に、二地域居住をする地域を選定する際、重視する条件は何かを尋ねたところ、「自然環境が良い」が52.2%、「交通の利便性が高い」が38.0%、「住宅を安く入手できる（借家を含む）」が27.7%などとなっている。

年代別にみると、30代以上では「自然環境が良い」と答える人の割合が最も高く、20代では「交通の利便性が高い」と答える人の割合が最も高くなっている。

(年代別)

(%)



「定住」や「二地域居住」を希望する地域として、三河山間地域よりもそれ以外の地域の割合が高くなっています。愛知県交流居住センターでは、ホームページを通じて三河山間地域の交流居住情報を受発信したり、交流居住を希望する都市住民からの問合せや相談に応じたりしていますが、「定住」や「二地域居住」を希望する人を三河山間地域へ結びつけていくために、同センターの機能をさらに充実させていく必要があると考えられます。また、良好な自然環境の確保や、公共交通機関、道路、医療などの生活基盤の整備も積極的に対応すべき課題だと考えられます。

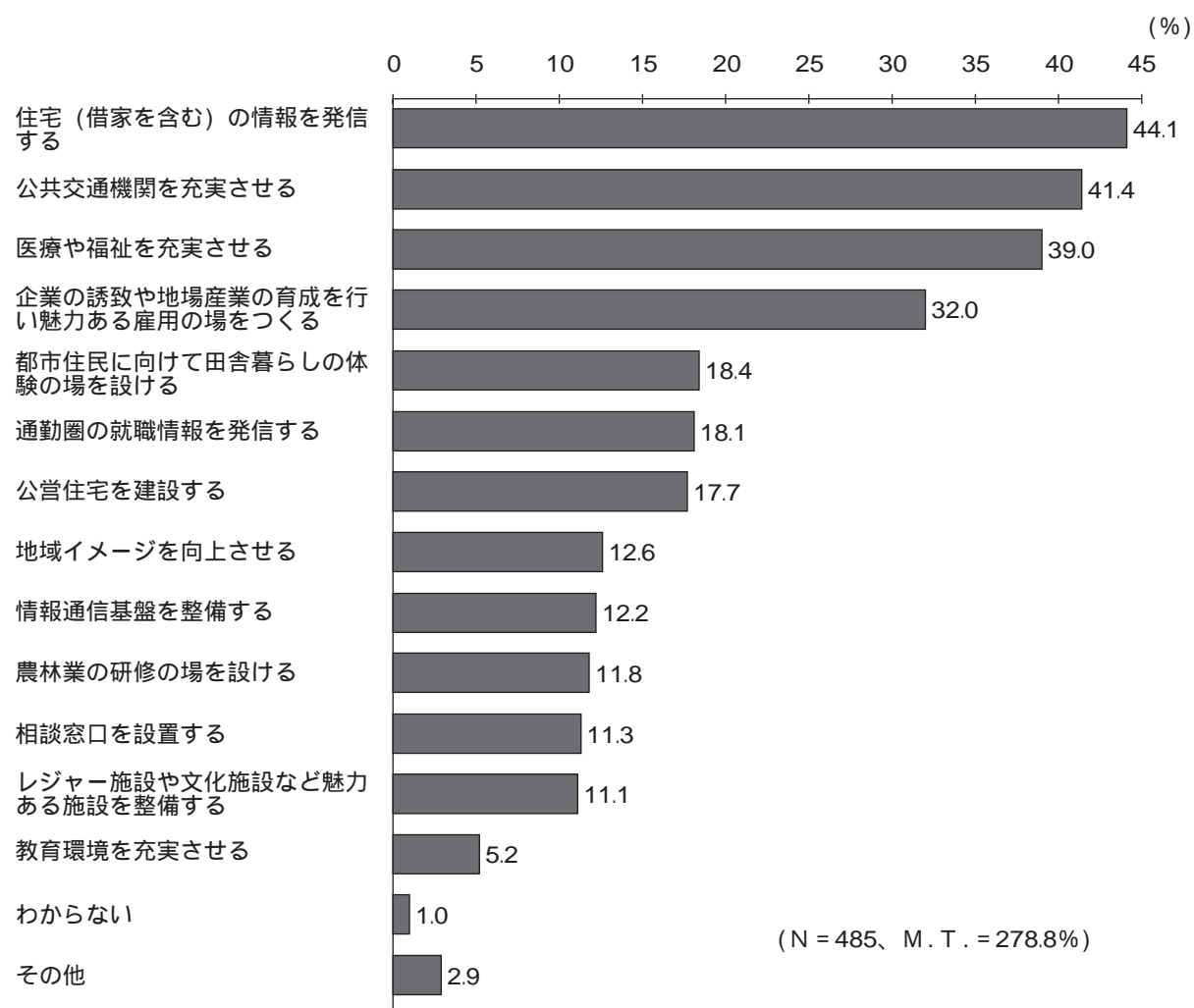
(地域振興部地域政策課山村振興室)

(参考)

愛知県交流居住センターは、三河山間地域における交流居住の促進を目的として、愛知県、市町村、企業、大学、NPOなどが連携して平成20年4月に設立されました。

ホームページ <http://www.aichi-kouryu.jp>

問14 三河山間地域において定住や二地域居住を促進するためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(回答は3つまで)

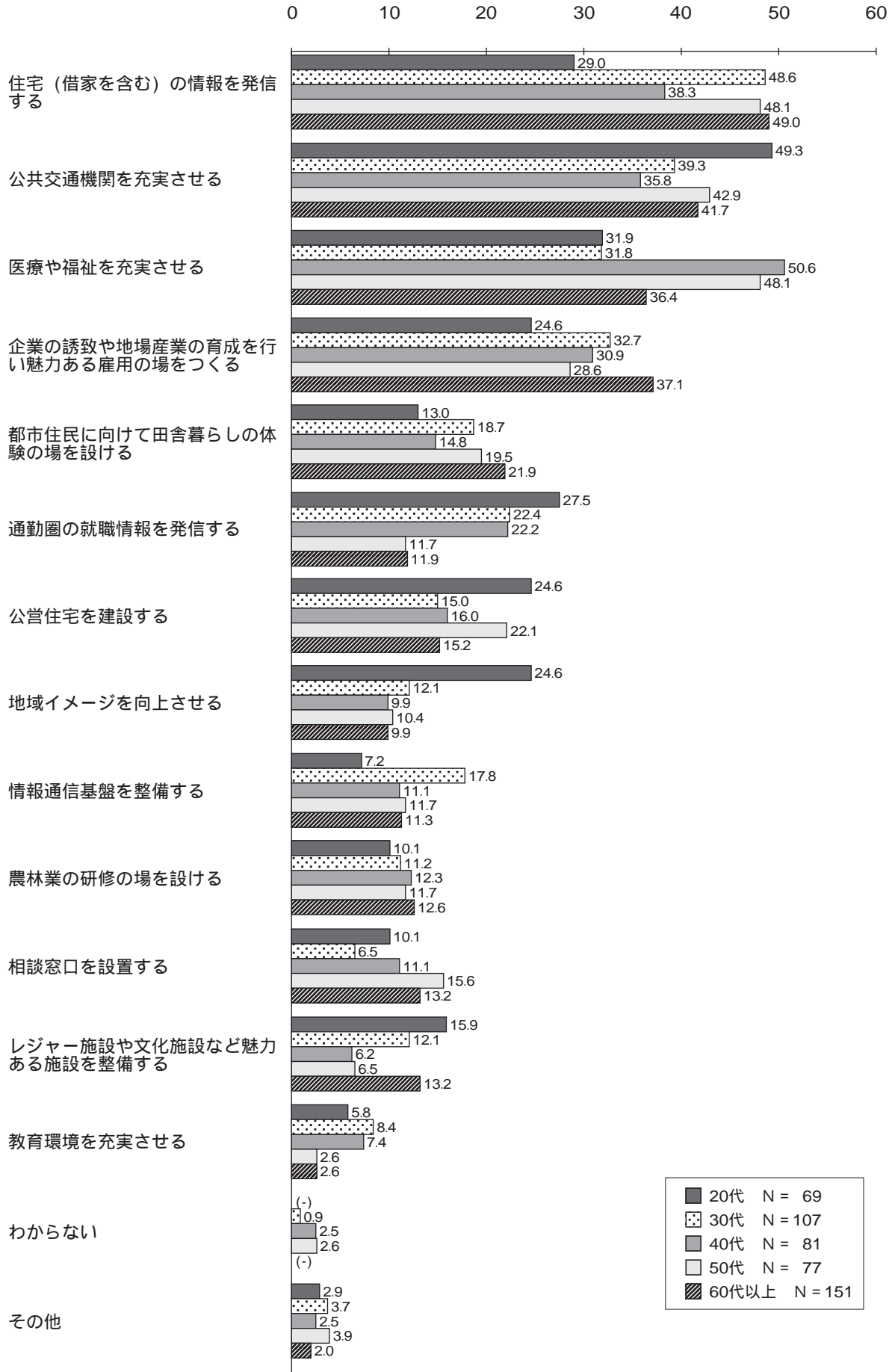


三河山間地域において定住や二地域居住を促進するためには、今後どのような取り組みが必要だと思うかを尋ねたところ、「住宅（借家を含む）の情報を発信する」が44.1%、「公共交通機関を充実させる」が41.4%、「医療や福祉を充実させる」が39.0%、「企業の誘致や地場産業の育成を行い魅力ある雇用の場をつくる」が32.0%などとなっている。

年代別にみると、「住宅（借家を含む）の情報を発信する」と答えた人の割合は30代、50代、60代以上で、「公共交通機関を充実させる」と答えた人の割合は20代で、「医療や福祉を充実させる」と答えた人の割合は40代、50代で高くなっている。

(年代別)

(%)

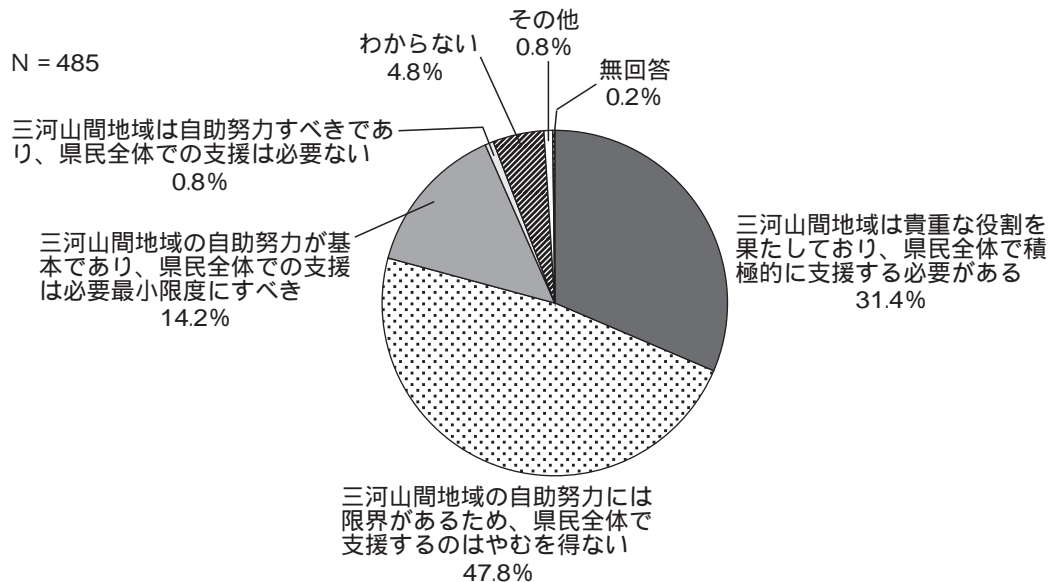


愛知県交流居住センターでは、ホームページ等を通じて住宅の情報を発信していますが、こうした情報の発信が最も求められていることから、さらに充実させていく必要があると考えられます。また、公共交通機関の充実や、医療や福祉の充実なども幅広い年代から求められており、積極的に対応すべき課題だと考えられます。

(地域振興部地域政策課山村振興室)

3 公益的機能・伝統文化の維持

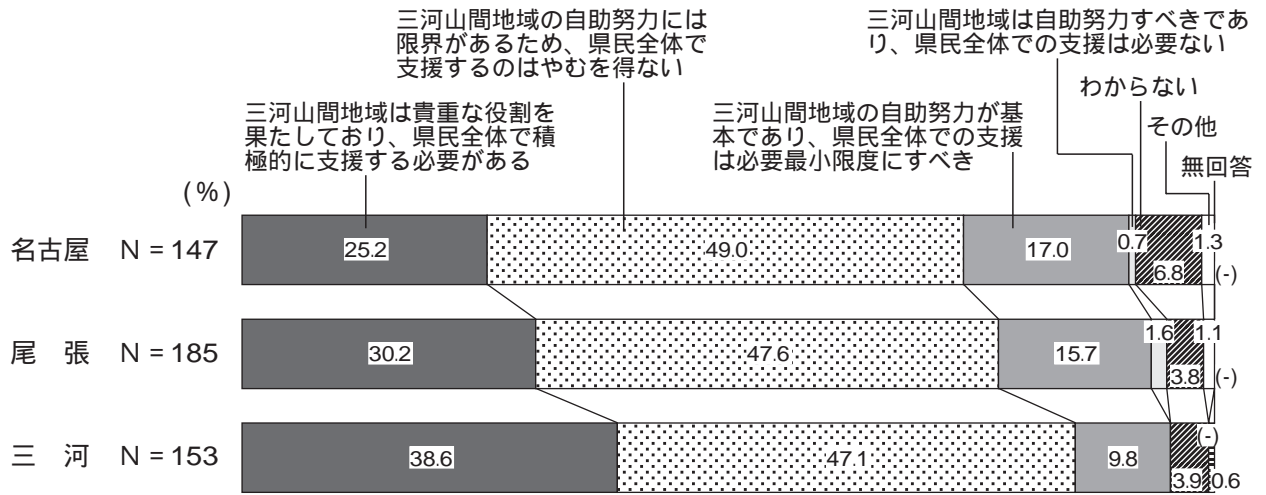
問15 三河山間地域は、農林業の停滞や人口の減少、高齢化の急激な進行などにより、森林や農地が持つ二酸化炭素の吸収や洪水防止、水資源の貯留、水質浄化などの公益的機能の維持や、花祭りなどの伝統文化の維持に支障が生じるなど厳しい状況を迎えています。こうした厳しい状況にある三河山間地域に対する支援について、どのように思いますか。(回答は1つ)



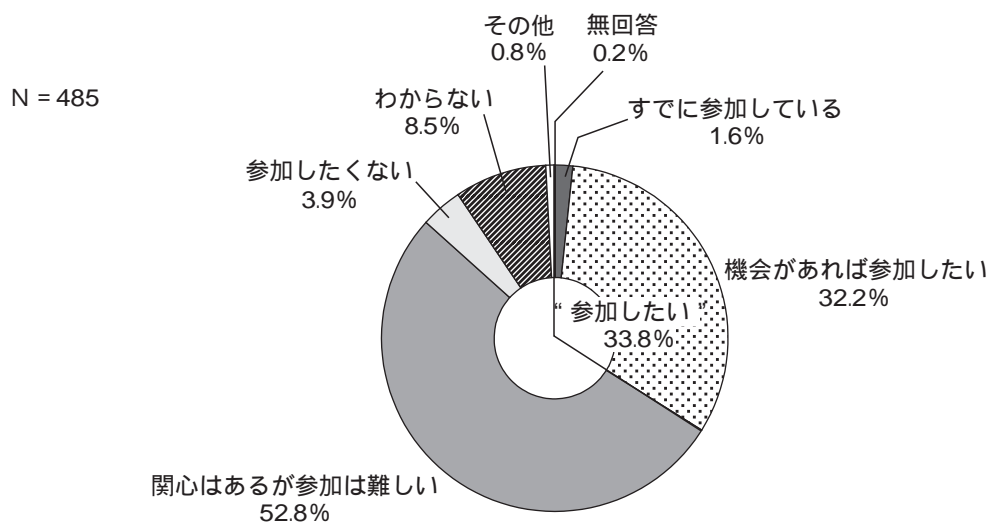
三河山間地域に対する県民全体での支援について尋ねたところ、「三河山間地域は貴重な役割を果たしており、県民全体で積極的に支援する必要がある」31.4%と「三河山間地域の自助努力には限界があるため、県民全体で支援するのはやむを得ない」47.8%とを合わせた、三河山間地域への県民全体での支援に理解を示す人の割合は79.2%となっている。

地域別にみると、三河山間地域への県民全体での支援に理解を示す人の割合は、三河地域で85.7%、次いで尾張地域で77.8%、名古屋地域で74.2%の順になっている。

(地域別)



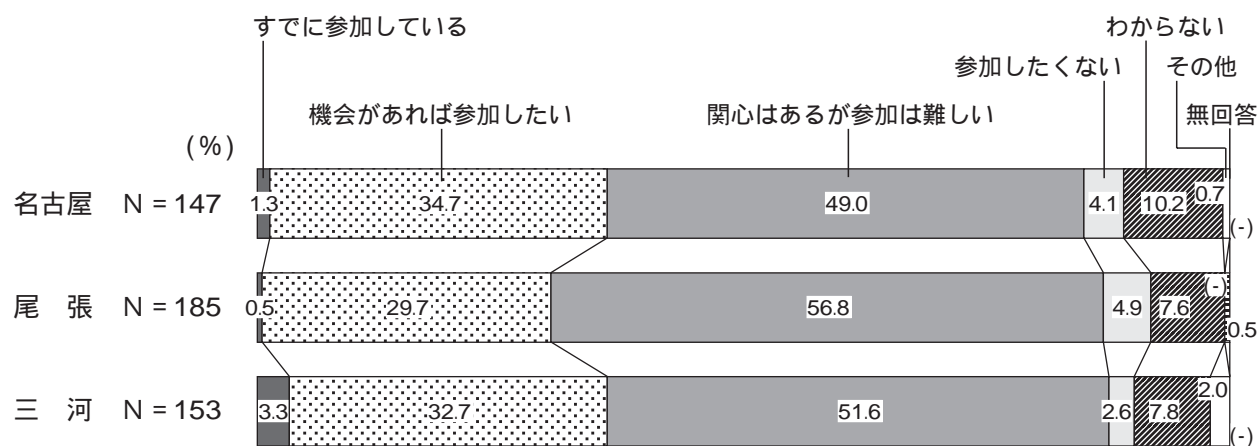
問16 あなたは、三河山間地域の公益的機能や伝統文化を維持する活動に参加することについてどのように思いますか。(回答は1つ)



あなたは、三河山間地域の公益的機能や伝統文化を維持する活動に参加することについてどのように思うかを尋ねたところ、「すでに参加している」1.6%と「機会があれば参加したい」32.2%とを合わせた“参加したい”が33.8%に対し、「関心はあるが参加は難しい」が52.8%、「参加したくない」が3.9%となっている。

地域別にみると、“参加したい”人の割合は、名古屋地域が、三河地域と同じく36.0%となっている。

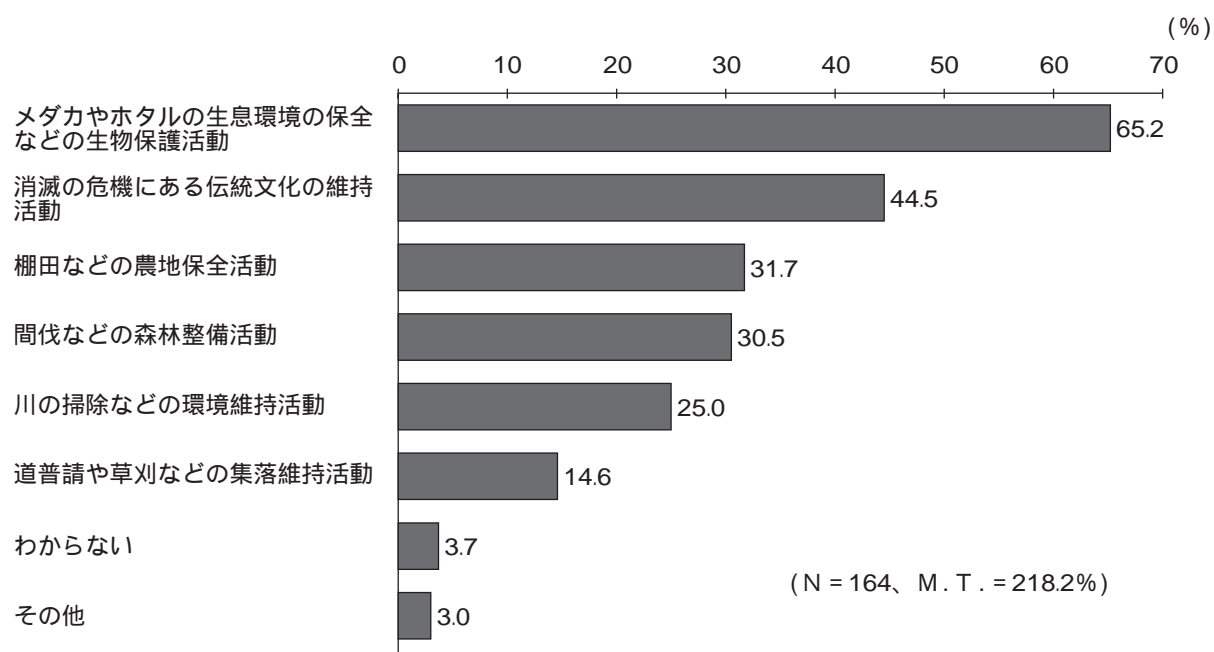
(地域別)



「すでに参加している」と答えた人の割合は1.6%と低くなっていますが、「機会があれば参加したい」と答えた人は32.2%もあり、これらの人を実際の活動への参加につなげることができるよう機会を増やしていくことが必要だと考えられます。 (地域振興部地域政策課山村振興室)

問17 問16で1または2と答えた方に質問します。どのような活動に参加してみたいですか。

(回答は3つまで)



問16で“参加したい”人に、どのような活動に参加してみたいかを尋ねたところ、「メダカやホタルの生息環境の保全などの生物保護活動」が65.2%、「消滅の危機にある伝統文化の維持活動」が44.5%、「棚田などの農地保全活動」が31.7%、「間伐などの森林整備活動」が30.5%などとなっている。

4 自由意見

山村振興対策について、ご意見・ご提案等があれば、自由にお書きください。

山村振興対策について、自由に意見を記入していただいたところ、254件の意見が寄せられた。それらを大別すると次表のとおりであり、以下、その意見の要旨をいくつか例示した。

項 目	件 数
(1) 観光の活性化策	8 2
(2) 過疎化・高齢化への対応	1 0
(3) 定住・二地域居住の推進策	4 1
(4) 道路の整備	1 7
(5) 生活環境の整備	2 5
(6) 就労環境の整備	2 4
(7) 農林水産業の振興	2 1
(8) 自然環境の保全	2 0
(9) その他	1 4
合 計	2 5 4

(1) 観光の活性化策

観光やレジャーの方法や楽しみ方が大きく変化しつつあると思う。どの年代にスポットを当てるかで活性化の方向も違う。

既存の観光スポットの魅力を発信するよりも、現代の需要に合った新しい観光スポットの掘り起こしをして、活性化につなげてほしい。

三河山間地域は自然に満ちている。しかし観光地化しては良さがなくなり、また長続きしないのではないか。

その地域にはない新しい観光スポットを作ったり、文化を無視するようなイベントを行ったりして、その地域の活性化を図るのはよくない。その地区にある魅力を最大限にPRしていくべきで、そのもとになるものを整備して行ってほしい。

新しく観光の目玉を作り出さずとも、現存する「自然」を見直せば、かなりの魅力ある観光資源となりうると思う。

「森林セラピー」基地の建設の促進が重要。「森林セラピー」に林業体験や伝統文化体験などを組み合わせれば、ニーズの掘り起こしは十分可能と考える。

子どもも楽しめるスポット、自然の中でしかできない体験施設なんかあればいいなと思う。

重要文化財など県や国にとっても大切なものが多い。県民が一丸となって守る・学ぶ・発展させる意識を持ち、進める必要を感じる。

歴史的にも意義のある場所が多くあり、これらをうまく活用して、全国から人が集まるイベントや施設などを、地元の間が運営していくような仕組みを作ってほしい。

地域の伝統文化や芸能、伝統行事等の充実も図るべきである。

今ある民家を生かしてお洒落な町並みを作る。

各地に町・村営の温泉施設があるが、施設の内容・形態等がワンパターン化されていて、どこも同じで新鮮味がない。客を呼ぶためには大きな工夫が必要。

いい温泉もたくさんあるので、道路の整備をして、施設の充実をして、PRをすべきだと思う。

一般の人が気軽に参加して楽しめるようなお祭りなどがあれば、盛り上がるのではないかと。一日限定ではなく、数ヶ月の間、いろんなイベントと共に盛り上げるのも良いと思う。

家畜とふれあえる牧場のような施設や木工ができる施設など、新たな観光名所が必要だと思う。また、お年寄りの方々に教わる団子作りや山菜採りなどができたら、少々発展するのではないかと。

季節などのシーズンに関わらずPRできる伝統工芸、特産品などを充実させていく。

産直品を扱う道の駅の大型店を作れば、県外からも来店し、「地域のイメージ向上」を図ることができると思う。

観光施設等でも設備等の十分な維持管理ができていない様を感じる。清潔に維持管理できるようにしてほしい。

三河山間地域の諸情報が、タイムリーに入っていない。名古屋から見ると近くて遠い地の様だ。三河は、歴史的にも魅力的な土地にもかかわらず、それを深く知らしめているとは思えない。

まずは、現在の状態でPR活動（旅行雑誌）を行ってほしいと思う。正直、三河山間地域の情報が少ないため、まずは今ある物で、どうやって行くかを考えるのが良いのでは。

愛知県単独ではなく、近隣の長野県や静岡県との連携も必要ではないかと。三河山間地域の特性を、マスコミ媒体を使って積極的にPRしていく施策が必要。

他の市町村や企業のイベント時にブース等を設置し、PRを行ったらどうか。

現地でも案内看板、食事処の紹介などを行い、地域全体の活性化につなげる努力が必要。

(2) 過疎化・高齢化への対応

限界集落の問題は、三河山間部だけの問題ではなく、全国的な問題だ。誰かがしてくれるのでは、解決しない。自助努力も限界があり、県民全員で考える必要がある。

最近、「森林ボランティア」という言葉を聞くが、狭義の森林活動（間伐などで森林整備）に留まらず、地域全体の活性化を図る観点から、道普請や草刈り、あるいは棚田と、範囲を広げた活動に展開してもよいと思う。市、県としても積極的に活動を支援し、一般の者が参加できるような機会を作ってほしい。

すでにならかなり高齢化が進んでおり、かなり厳しい状況にあるが、県民の多くはそのことを知らないと思うし、学校でも教えていない。もっとPRすべきと思う。

(3) 定住・二地域居住の推進策

休耕田の貸し出し、使用されていない畑の貸し出し、空き家等の利用はできないか。

ウィークリーで借りられる安価な住宅があれば、人は集まってくると思う。

4～5名で空き家を共有する住居オーナー制度の創設。

お金がネックになって定住、二地域居住をためらっている人のために、条件付で金銭的な援助をしてはどうか。例えば、休耕田を蘇らせて農業をすることを条件にするなど。

定住や二地域居住に関心があるが、この地域は不動産関連の情報を集めるのに苦労する。もとより、物件や不動産業者も多くないことを考えれば、公的機関による情報収集・提供経路があるとありがたい。

一気に移住は勇気が要るので、レジャーを通して、訪れやすい機会、体験しやすい機会を作ってはと思う。

県の主要地区からバスを出し、田舎暮らし体験などをツアーのように一つのイベントとして開催して欲しい。20代が参加できるものが少ないことが残念。

夏休みなどの長期休み、もしくは月一度でも、農業など子どもと共に体験できるものを、幼稚園や小学校単位で企画・募集をしてもらえると参加しやすいと思う。

都市部と山村との交流事業が必要。そのための具体的な施策は、農（林）作業・自然体験できる滞在型市民農園の提供だ。

山村留学に取組み、名古屋、東京、大阪など都心部の子育て世代にPRしていくのはどうか。山間の子と都心の子の交流が生まれることも期待できそうだ。

老後の手前ぐらいの層の住める環境を作り、休日などにその子どもや孫が訪ねることができるような環境（施設や行事など）を整え、地域間の交流を深め、地方の活性化につながればと思う。

(4) 道路の整備

山道が多く、車の運転をするには怖くて避けたい道が多いので、すれ違いなどが出来るよう整備できているといいと思う。

自動車を使用しての移動が多いので、道路状況の良・悪は大きい。目的地まで迷うことなく、スムーズに到着できることがいいと思うが、なかなか難しいのが現実だ。

香嵐渓の紅葉の季節のイメージが強いため、常に渋滞している感がある。公共交通機関を含め、交通網の充実が必要だと思う。

(5) 生活環境の整備

都市に向けての公共交通機関の利便性を良くし、昼間は都市で働き、夜は三河山間地域で居住できるようなればよいと思う。

60歳の定年を迎えられた方が、積極的に山村に定住できるインフラの整備が必要かと思う。

定住者を増やすことを活性化と考えると、医療問題が大きいと思う。これから超高齢社会を迎える中で、少なくとも医療問題の解決なしには難しいと思う。

医療面で、モニター診療(テレビ電話など)や、緊急の場合に対応できる事など、中高年の女性にとって普通の医療費で、体にあまり負担がかからず受診できたらと思う。

地震などの対策に電話、インターネット整備の拡充をしてほしい。

生活必需品などの購入施設の誘致等が必要ではないか。

教養・芸能など生きがいのあるサークル活動がしたい。そのリーダーを育成して山間地に送り込む。

(6) 就労環境の整備

若者を地域で育て、根付かせることが必要。そのためには、地域で安心して働けるようにするなど、就職の場が必要である。

山間地域における雇用の創出は簡単にはできないと思われるので、周辺都市への就業支援を考えるべき。

企業誘致や地場産業の育成を行い、魅力ある雇用の場を是非作る必要があると考える。

研究所や工場を誘致すれば、自然と人口も増えるし、社会インフラも整備される。

(7) 農林水産業の振興

地球温暖化の影響も受けて、山林地域の保全が見直されている。それらの観点からも洪水防止・水資源の貯留・水質浄化など公益的機能維持のため、県民全体の支援が急務である。

農業体験の講座などを開き、グループで農業をしたい人などを積極的に三河地区に呼び込んだら、どうかと思う。

水害から守るためにも、間伐など森林に従事する人の身分(職員や給料など)を保障する必要がある。

若者を始め関心のある人に、体験を通して、農業を促進してもらいたい。

NPOやNGOを最大限利用し、愛知県民を間伐や森林の清掃、また田んぼや農業に目を向けるイベントを多く行って欲しい。

途上国の外国の若者を使って、とりあえず農林業の維持活性化を図り、農村に金を落とすようにする。

高齢化により農林業の従事者が減少し、山林、竹林、田畑の荒廃が多いと聞いている。田舎暮らしで自給自足の生活を希望している若者にその資源を提供したらいいと思う。

環境を無視出来ない方向に進んで来ているので、これからの未来は、山間地域において、かつてない追い風となってくると思う。そこで、小学～高校の修学旅行、大学の授業の一環、企業の新人研修の一環等で、田植えや間伐、自然と共に暮らす地域の人々の知恵に触れる機会を与えられるような取組みが必須だと思われる。

(8) 自然環境の保全

食料自給率の問題や生物多様性問題等いろいろあり、自然豊かな三河山間地域は、愛知県全体で保全・活用していく必要を強く感じる。

C O P 10開催の折でもあり、地域と環境とマッチした地域づくりも併行して推進する。

あまり無理な開発はせず、なるべく自然を保全するような開発をしてほしい。

中学生、高校生などに体験学習やボランティア活動として、山間地区の自然を守ってほしい。

(9) その他

山間地域の存在意義は何だろう。それを明確にすることが、活性化の第一歩ではなかろうか。

利益採算中心の現在の流れでは、山間地域の活性化は難しいと思う。

個々バラバラの活性化対策でなく、三河山間地域内の連携がより一層必要と思われる。

他の市町村の人間が、その地域の問題を勝手に解決したところで、何の効果もない。地域住民と協力してこそ価値がある。そのためにも、まず行政が主体となり、顔合わせの機会をつくること。

山間地域を活性化するために開発をし、都市部のように変えていくような考えは反対である。今住んでいる方々の考えを重視し、その考えや山間地域の魅力を広く発信して欲しい。

県・市の指導で広域合併を進めて、初期の立ち上げは行政の指導で、地域を担えるリーダーの育成を図る必要がある。

Ⅲ 質問と回答

1 観光の活性化策

問1 あなたは、山や高原などの山間地域を旅行やレジャーで訪れる場合、どちらの地域に行くことが多いですか。よく訪れる地域を選んで下さい。なお、山間地域に現在お住まいの方は、下記1～9の選択肢のうち、自らが居住している市町村が含まれる選択肢以外をお選びください。

(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	147	185	153	69	107	81	77	151
岡崎市 [旧額田町の地域] 豊田市 [旧藤岡町・旧小原村・旧足助町・旧下山村・旧旭町・旧稲武町の地域]	32.0	36.0	28.1	36.1	27.0	34.0	21.7	30.8	34.6	26.0	39.1
新城市	9.7	11.4	8.0	2.7	3.2	24.2	8.7	10.3	6.2	7.8	12.6
設楽町・東栄町・豊根村	14.2	18.2	10.4	9.5	9.2	24.8	5.8	13.1	17.3	19.5	14.6
岐阜県山間部	55.3	56.4	54.2	59.9	69.2	34.0	47.8	51.4	56.8	53.2	61.6
三重県山間部	17.7	17.8	17.7	23.8	21.6	7.2	15.9	14.0	19.8	19.5	19.2
長野県山間部	51.5	50.8	52.2	51.0	56.2	46.4	43.5	47.7	46.9	66.2	53.0
静岡県山間部	13.4	15.3	11.6	9.5	11.4	19.6	14.5	9.3	11.1	15.6	15.9
あまり行かない	16.1	11.4	20.5	18.4	13.0	17.6	23.2	15.0	16.0	16.9	13.2
その他	2.7	2.5	2.8	2.0	2.2	3.9	2.9	2.8	(-)	(-)	5.3
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

問2 あなたは山間地域をここ数年の間に、旅行やレジャーで年間平均何回ぐらい訪れましたか。なお、三河山間地域に現在お住まいの方は、居住する地域以外を訪れた場合の回数をお答えください。

(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	147	185	153	69	107	81	77	151
1回	16.1	14.0	18.1	15.7	18.9	13.1	14.5	14.0	22.2	14.3	15.9
2～5回	58.1	55.5	60.7	55.1	57.8	61.4	55.1	62.7	54.3	51.9	61.6
6～10回	12.2	14.8	9.6	12.2	13.0	11.1	11.6	7.5	12.4	14.3	14.6
11～19回	3.9	5.1	2.8	2.0	4.3	5.2	2.9	3.7	6.2	5.2	2.6
20回以上	2.1	2.1	2.0	4.1	1.6	0.7	2.9	3.7	(-)	3.9	0.7
訪れていない	7.4	8.1	6.8	10.9	3.8	8.5	11.6	8.4	4.9	10.4	4.6
無回答	0.2	0.4	(-)	(-)	0.6	(-)	1.4	(-)	(-)	(-)	(-)

問3 山間地域を訪れる旅行やレジャーの内容は何ですか。(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	147	185	153	69	107	81	77	151
観光施設や温泉施設利用	71.5	66.9	75.9	72.1	73.0	69.3	75.4	64.5	65.4	66.2	80.8
イベント	8.5	10.2	6.8	8.8	7.6	9.2	11.6	8.4	7.4	5.2	9.3
伝統行事・伝統芸能	6.8	8.5	5.2	8.8	6.5	5.2	2.9	2.8	3.7	1.3	15.9
ドライブ・ツーリング・風景や四季の鑑賞(紅葉など)	52.6	54.2	51.0	49.7	53.5	54.2	47.8	52.3	49.4	59.7	53.0
キャンプ・バーベキュー	11.1	12.3	10.0	10.2	11.9	11.1	13.0	21.5	19.8	2.6	2.6
登山・トレッキング・ハイキング	12.6	14.4	10.8	16.3	11.9	9.8	10.1	7.5	11.1	14.3	17.2
釣り・カヌー・川遊び	3.9	5.1	2.8	2.0	3.2	6.5	5.8	1.9	8.6	2.6	2.6
スキー・スノーボード	12.8	12.7	12.9	8.2	14.6	15.0	15.9	23.4	23.5	6.5	1.3
ゴルフやテニスなどその他のスポーツ	3.9	6.8	1.2	3.4	4.3	3.9	2.9	5.6	6.2	3.9	2.0
果物狩り・山菜採り	15.5	12.7	18.1	14.3	18.4	13.1	15.9	15.9	7.4	18.2	17.9
農林畜産体験・自然体験・田舎暮らし体験	4.1	3.4	4.8	6.8	3.2	2.6	2.9	3.7	3.7	3.9	5.3
別荘・滞在型市民農園	2.9	1.7	4.0	4.8	2.2	2.0	1.4	0.9	3.7	1.3	5.3
産直品・特産品の購入、郷土料理の飲食	23.3	22.9	23.7	18.4	25.4	25.5	20.3	16.8	19.8	33.8	25.8
行ったことがない	3.3	2.5	4.0	4.1	2.2	3.9	1.4	3.7	2.5	5.2	3.3
その他	4.1	3.8	4.4	2.7	5.4	3.9	4.3	3.7	3.7	2.6	5.3
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

問4 あなたは、山間地域ならではの体験メニューとしてやってみたいことは何ですか。

(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	147	185	153	69	107	81	77	151
田植えや野菜作りなどの農業体験	23.5	22.5	24.5	32.7	15.7	24.2	27.5	30.8	27.2	15.6	18.5
間伐や炭焼きなどの林業体験	19.6	29.2	10.4	21.8	17.3	20.3	10.1	19.6	22.2	19.5	22.5
乳搾りやバター作りなどの畜産体験	33.4	29.7	36.9	32.7	34.6	32.7	46.4	57.0	28.4	26.0	17.2
釣りやヤナなどの漁業体験	32.2	39.8	24.9	32.0	34.1	30.1	36.2	40.2	37.0	29.9	23.2
バードウォッチングや虫狩りなどの自然体験	37.3	36.0	38.6	34.0	38.9	38.6	29.0	33.6	42.0	41.6	39.1
竹細工や紙すきなどのものづくり体験	27.0	19.9	33.7	24.5	31.9	23.5	24.6	16.8	28.4	28.6	33.8
そば打ちや五平餅作りなどの料理体験	52.2	43.6	60.2	45.6	60.0	49.0	53.6	44.9	46.9	58.4	56.3
特になし	5.2	5.5	4.8	4.8	2.7	8.5	2.9	1.9	6.2	2.6	9.3
その他	6.2	8.1	4.4	4.8	8.6	4.6	8.7	7.5	3.7	5.2	6.0
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

問5 あなたはどのような媒体から山間地域の観光情報を入手することが多いですか。

(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	147	185	153	69	107	81	77	151
新聞	45.6	44.1	47.0	49.0	40.0	49.0	27.5	33.6	45.7	51.9	58.9
テレビ	40.0	36.9	43.0	42.9	42.2	34.6	34.8	43.9	42.0	33.8	41.7
ラジオ	6.2	5.5	6.8	4.8	4.9	9.2	5.8	6.5	7.4	3.9	6.6
観光雑誌	40.8	41.5	40.2	44.2	42.2	35.9	56.5	47.7	49.4	39.0	25.2
観光パンフレット	43.3	41.1	45.4	42.9	40.0	47.7	34.8	34.6	40.7	40.3	56.3
ホームページ	35.9	42.8	29.3	32.7	43.8	29.4	44.9	44.9	34.6	37.7	25.2
知人・友人からの口コミ	37.9	31.4	44.2	32.7	40.0	40.5	39.1	35.5	29.6	37.7	43.7
入手したことがない	1.9	2.5	1.2	2.0	1.1	2.6	(-)	0.9	3.7	3.9	1.3
その他	2.5	3.0	2.0	2.0	1.6	3.9	1.4	1.9	1.2	2.6	4.0
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

問6 あなたは、三河山間地域を旅行やレジャーで訪れたとき、不満に思ったことは何ですか。

(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	147	185	153	69	107	81	77	151
公共交通機関の路線数や本数が少なく不便	34.8	32.6	36.9	42.9	30.3	32.7	33.3	27.1	24.7	37.7	45.0
道路が狭い	29.7	30.1	29.3	21.1	33.5	33.3	27.5	33.6	29.6	26.0	29.8
飲食施設が少ない	24.3	25.8	22.9	23.8	24.3	24.8	24.6	27.1	24.7	22.1	23.2
宿泊施設が少ない	11.8	12.7	10.8	15.6	13.0	6.5	10.1	10.3	8.6	10.4	15.9
特産品や土産品を買う施設が少ない	10.5	12.3	8.8	9.5	10.3	11.8	2.9	9.3	8.6	11.7	15.2
トイレや休憩施設が少ない	36.5	30.9	41.8	36.7	33.5	39.9	42.0	40.2	38.3	32.5	32.5
案内看板が少ない・わかりづらい	36.5	37.3	35.7	35.4	36.8	37.3	43.5	23.4	37.0	39.0	41.1
不満に思ったことはない	11.1	12.7	9.6	10.2	11.4	11.8	10.1	12.1	11.1	14.3	9.3
行ったことがない	6.6	6.4	6.8	7.5	7.6	4.6	7.2	7.5	4.9	5.2	7.3
その他	7.8	7.2	8.4	6.1	7.6	9.8	13.0	11.2	8.6	3.9	4.6
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

問7 三河山間地域を訪れる人を増やすためには、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。

(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	147	185	153	69	107	81	77	151
既存の観光スポットの魅力向上	45.6	47.0	44.2	44.2	47.0	45.1	36.2	43.0	40.7	40.3	57.0
新たな観光スポットの創出	22.3	24.2	20.5	26.5	21.6	19.0	26.1	26.2	25.9	14.3	19.9
イベントの開催	27.2	24.6	29.7	26.5	28.1	26.8	30.4	32.7	27.2	24.7	23.2
伝統行事や伝統芸能に親しむ機会の充実	23.7	27.1	20.5	27.9	25.4	17.6	24.6	15.9	17.3	23.4	32.5
スポーツを楽しむ施設の充実	6.2	7.2	5.2	3.4	5.9	9.2	7.2	7.5	8.6	3.9	4.6
自然体験や農林畜産体験、田舎暮らし体験メニューの充実	42.3	38.1	46.2	42.9	37.8	47.1	40.6	48.6	44.4	44.2	36.4
別荘や滞在型市民農園など滞在施設の充実	21.6	20.8	22.5	20.4	20.5	24.2	17.4	24.3	27.2	19.5	19.9
産直品や特産品、郷土料理の充実	31.1	27.1	34.9	27.2	34.1	31.4	21.7	25.2	29.6	39.0	36.4
PRの強化	39.4	40.3	38.6	38.8	40.5	38.6	46.4	36.4	32.1	48.1	37.7
分からない	1.6	1.7	1.6	1.4	1.6	2.0	4.3	(-)	2.5	1.3	1.3
その他	6.6	10.2	3.2	3.4	6.5	9.8	5.8	9.3	8.6	6.5	4.0
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

2 定住・二地域居住の推進策

問8 あなたは、山間地域に自らが定住することに関心がありますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	147	185	153	69	107	81	77	151
大に関心がある	5.8	6.4	5.2	6.8	3.3	7.9	(-)	6.5	6.2	11.7	4.6
多少関心がある	43.1	44.9	41.4	40.1	50.8	36.6	47.8	42.1	49.4	40.3	39.7
関心がない	48.4	46.6	50.2	51.7	45.4	49.0	50.7	50.5	43.2	44.1	51.0
既に定住している	2.5	2.1	2.8	0.7	0.5	6.5	1.5	0.9	1.2	3.9	4.0
無回答	0.2	(-)	0.4	0.7	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0.7

問9 問8で1または2と答えた方に質問します。山間地域に定住をするなら希望する地域はどこですか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	237	121	116	69	100	68	33	52	45	40	67
岡崎市 [旧額田町の地域]、 豊田市 [旧藤岡町・旧下山村の地域]	9.3	9.1	9.5	7.3	6.0	16.2	9.1	7.7	13.3	12.5	6.0
豊田市 [旧小原村・旧足助町・ 旧旭町・旧稲武町の地域]	16.4	14.9	18.1	18.9	13.0	19.1	6.1	15.4	17.8	15.0	22.3
新城市	4.2	1.6	6.9	1.4	5.0	5.9	3.0	1.9	(-)	7.5	7.5
設楽町・東栄町・豊根村	5.1	8.3	1.7	1.4	3.0	11.8	3.0	1.9	6.7	7.5	6.0
岐阜県山間部	15.2	17.4	12.9	14.5	23.0	4.4	6.1	17.3	13.3	12.5	20.9
三重県山間部	0.8	1.6	(-)	(-)	2.0	(-)	(-)	(-)	(-)	2.5	1.5
長野県山間部	20.3	22.3	18.1	26.1	22.0	11.8	30.3	21.2	28.9	12.5	13.4
静岡県山間部	4.2	5.8	2.6	1.4	4.0	7.3	3.0	1.9	2.2	5.0	7.5
特に決めていない	22.8	18.2	27.6	27.6	20.0	22.0	39.4	30.8	17.8	20.0	13.4
その他	1.7	0.8	2.6	1.4	2.0	1.5	(-)	1.9	(-)	5.0	1.5
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

問10 問8で1または2と答えた方に質問します。山間地域に定住する地域を選定する際、重視する条件は何ですか。(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	237	121	116	69	100	68	33	52	45	40	67
親の居住地又は生まれ故郷	7.6	8.3	6.9	7.2	6.0	10.3	9.1	13.5	8.9	17.5	3.0
親類・知人の居住地	6.3	5.8	6.9	4.3	7.0	7.4	6.1	7.7	2.2	2.5	10.4
自然環境が良い	54.4	60.3	48.3	46.4	57.0	58.8	36.4	53.8	51.1	60.0	62.7
都市に近い	12.7	13.2	12.1	21.7	11.0	5.9	6.1	19.2	6.7	15.0	13.4
現在の通勤・通学・通院先を替えなくていい	10.5	9.9	11.2	11.6	7.0	14.7	15.2	19.2	13.3	5.0	3.0
就職先がある	14.8	16.5	12.9	18.8	15.0	10.3	30.3	23.1	20.0	5.0	3.0
農林業ができる	4.2	7.4	0.9	4.3	3.0	5.9	3.0	1.9	2.2	2.5	9.0
家庭菜園や登山などの趣味ができる	21.9	22.3	21.6	15.9	24.0	25.0	12.1	15.4	24.4	22.5	29.9
交通の利便性が高い	25.7	21.5	30.2	27.5	23.0	27.9	30.3	19.2	22.2	25.0	31.3
買い物がしやすい	14.3	13.2	15.5	8.7	16.0	17.6	15.2	9.6	17.8	20.0	11.9
情報通信基盤が充実している	4.2	4.1	4.3	5.8	3.0	4.4	6.1	3.8	8.9	5.0	(-)
医療や福祉が充実している	35.9	32.2	39.7	36.2	36.0	35.3	54.5	28.8	33.3	35.0	34.3
教育環境が充実している	1.3	0.8	1.7	1.4	2.0	(-)	(-)	1.9	4.4	(-)	(-)
地域の印象が良い	11.8	8.3	15.5	7.2	14.0	13.2	18.2	13.5	20.0	2.5	7.5
地域の人が親しみやすい	9.3	9.9	8.6	7.2	8.0	13.2	9.1	3.8	8.9	12.5	11.9
住宅を安く入手できる(借家を含む)	12.2	14.9	9.5	11.6	9.0	17.6	3.0	17.3	15.6	15.0	9.0
その他	2.5	2.5	2.6	1.4	4.0	1.5	6.1	(-)	(-)	7.5	1.5
無回答	11.4	11.6	11.2	13.0	13.0	7.4	9.1	11.5	4.4	12.5	14.9

問11 あなたは、二地域居住に関心がありますか。(回答は1つ)

「二地域居住」とは、現在の住居に加えて農山村等に生活拠点をもち、週末や一年のうちの一定期間を滞在すること)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	147	185	153	69	107	81	77	151
大に関心がある	10.9	13.1	8.8	11.6	9.7	11.8	8.7	10.3	9.9	19.5	8.6
多少関心がある	45.6	47.1	44.2	46.2	48.1	41.8	39.1	40.2	53.1	53.2	44.4
関心がない	43.1	39.8	46.2	42.2	42.2	45.1	52.2	49.5	35.8	27.3	46.3
既に二地域居住している	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
無回答	0.4	(-)	0.8	(-)	(-)	1.3	(-)	(-)	1.2	(-)	0.7

問12 問11で1または2と答えた方に質問します。二地域居住をするなら希望する地域はどこですか。

(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代 以上
総数	274	142	132	85	107	82	33	54	51	56	80
岡崎市 [旧額田町の地域]、 豊田市 [旧藤岡町・旧下山村 の地域]	6.6	7.8	5.3	4.7	8.4	6.1	3.0	5.5	7.8	8.9	6.2
豊田市 [旧小原村・旧足助町・ 旧旭町・旧稲武町の地域]	16.8	16.2	17.4	18.8	9.3	24.4	(-)	14.8	15.7	14.3	27.5
新城市	4.0	3.5	4.5	(-)	2.8	9.8	9.1	5.5	2.0	3.6	2.5
設楽町・東栄町・豊根村	4.8	7.1	2.3	1.2	1.9	12.2	(-)	1.9	5.9	8.9	5.0
岐阜県山間部	17.9	20.4	15.2	18.8	27.1	4.9	15.2	18.5	9.8	19.6	22.5
三重県山間部	1.8	2.8	0.8	2.4	1.9	1.2	3.0	1.9	2.0	1.8	1.3
長野県山間部	19.7	21.1	18.2	21.2	22.4	14.6	21.2	14.8	29.4	21.4	15.0
静岡県山間部	2.9	4.2	1.5	3.5	1.9	3.6	3.0	1.9	(-)	1.8	6.3
特に決めていない	23.7	16.2	31.8	27.0	22.4	22.0	45.5	35.2	27.4	16.1	10.0
その他	1.8	0.7	3.0	2.4	1.9	1.2	(-)	(-)	(-)	3.6	3.7
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

問13 問11で1または2と答えた方に質問します。二地域居住をする地域を選定する際、重視する条件は何ですか（回答は3つまで）

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	274	142	132	85	107	82	33	54	51	56	80
親の居住地又は生まれ故郷	5.5	5.6	5.3	4.7	7.5	3.7	6.1	9.3	5.9	3.6	3.8
親類・知人の居住地	6.6	5.6	7.6	4.7	8.4	6.1	3.0	1.9	2.0	5.4	15.0
自然環境が良い	52.2	59.2	44.7	49.4	50.5	57.3	39.4	48.1	52.9	55.4	57.5
都市に近い	11.3	12.0	10.6	18.8	7.5	8.5	6.1	11.1	11.8	3.6	18.8
現在の通勤・通学・通院先を替えなくていい	8.8	7.7	9.8	12.9	6.5	7.3	12.1	18.5	9.8	5.4	2.5
就職先がある	2.9	4.2	1.5	(-)	4.7	3.7	3.0	3.7	3.9	3.6	1.3
農林業ができる	1.5	2.8	(-)	(-)	1.9	2.4	(-)	1.9	(-)	1.8	2.5
家庭菜園や登山などの趣味ができる	20.4	19.0	22.0	16.5	21.5	23.2	18.2	9.3	25.5	14.3	30.0
交通の利便性が高い	38.0	32.4	43.9	47.1	33.6	34.1	48.5	38.9	37.3	30.4	38.8
買い物がしやすい	13.1	11.3	15.2	17.6	14.0	7.3	3.0	18.5	13.7	19.6	8.8
情報通信基盤が充実している	3.6	4.2	3.0	2.4	3.7	4.9	3.0	3.7	9.8	3.6	(-)
医療や福祉が充実している	24.1	23.2	25.0	23.5	25.2	23.2	18.2	20.4	21.6	30.4	26.3
教育環境が充実している	1.5	0.7	2.3	1.2	1.9	1.2	3.0	3.7	(-)	(-)	1.3
地域の印象が良い	18.6	19.7	17.4	15.3	17.8	23.2	30.3	14.8	17.6	21.4	15.0
地域の人が親しみやすい	16.8	14.8	18.9	14.1	15.9	20.7	24.2	14.8	19.6	14.3	15.0
住宅を安く入手できる（借家を含む）	27.7	26.8	28.8	29.4	24.3	30.5	21.2	40.7	29.4	32.1	17.5
その他	2.9	3.5	2.3	1.2	3.7	3.7	15.2	1.9	(-)	1.8	1.3
無回答	7.3	8.5	5.3	5.9	10.3	4.9	9.1	7.4	5.9	8.9	5.0

問14 三河山間地域において定住や二地域居住を促進するためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	147	185	153	69	107	81	77	151
住宅(借家を含む)の情報を発信する	44.1	44.5	43.8	45.6	45.4	41.2	29.0	48.6	38.3	48.1	49.0
公営住宅を建設する。	17.7	16.5	18.9	24.5	13.0	17.0	24.6	15.0	16.0	22.1	15.2
通勤圏の就職情報を発信する	18.1	17.8	18.5	12.9	21.6	19.0	27.5	22.4	22.2	11.7	11.9
企業の誘致や地場産業の育成を行い魅力ある雇用の場をつくる	32.0	31.8	32.1	25.9	34.6	34.6	24.6	32.7	30.9	28.6	37.1
農林業の研修の場を設ける	11.8	13.1	10.4	13.6	12.4	9.2	10.1	11.2	12.3	11.7	12.6
公共交通機関を充実させる	41.4	33.1	49.4	46.3	38.9	39.9	49.3	39.3	35.8	42.9	41.7
情報通信基盤を整備する	12.2	11.9	12.4	10.9	13.0	12.4	7.2	17.8	11.1	11.7	11.3
医療や福祉を充実させる	39.0	39.0	39.0	32.0	38.9	45.8	31.9	31.8	50.6	48.1	36.4
教育環境を充実させる	5.2	7.2	3.2	2.0	5.4	7.8	5.8	8.4	7.4	2.6	2.6
レジャー施設や文化施設など魅力ある施設を整備する。	11.1	12.7	9.6	6.8	14.1	11.8	15.9	12.1	6.2	6.5	13.2
都市住民に向けて田舎暮らしの体験の場を設ける	18.4	18.6	18.1	18.4	21.1	15.0	13.0	18.7	14.8	19.5	21.9
相談窓口を設置する	11.3	12.3	10.4	15.0	8.6	11.1	10.1	6.5	11.1	15.6	13.2
地域イメージを向上させる	12.6	12.3	12.9	12.2	14.6	10.5	24.6	12.1	9.9	10.4	9.9
わからない	1.0	1.3	0.8	2.0	0.5	0.7	(-)	0.9	2.5	2.6	(-)
その他	2.9	4.2	1.6	4.8	1.6	2.6	2.9	3.7	2.5	3.9	2.0
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

3 公益的機能・伝統文化の維持

問15 三河山間地域は、農林業の停滞や人口の減少、高齢化の急激な進行などにより、森林や農地が持つ二酸化炭素の吸収や洪水防止、水資源の貯留、水質浄化などの公益的機能の維持や、花祭りなどの伝統文化の維持に支障が生じるなど厳しい状況を迎えています。こうした厳しい状況にある三河山間地域に対する支援について、どのように思いますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	147	185	153	69	107	81	77	151
三河山間地域は貴重な役割を果たしており、県民全体で積極的に支援する必要がある。	31.4	33.5	29.3	25.2	30.2	38.6	27.5	26.2	37.0	24.7	37.1
三河山間地域の自助努力には限界があるため、県民全体で支援するのはやむを得ない	47.8	46.6	49.0	49.0	47.6	47.1	53.6	48.6	40.8	50.6	47.0
三河山間地域の自助努力が基本であり、県民全体での支援は必要最小限度にすべき	14.2	14.8	13.7	17.0	15.7	9.8	13.0	15.9	14.8	15.6	12.6
三河山間地域は自助努力すべきであり、県民全体での支援は必要ない	0.8	1.7	(-)	0.7	1.6	(-)	1.5	0.9	(-)	(-)	1.3
わからない	4.8	2.1	7.2	6.8	3.8	3.9	4.4	7.5	4.9	7.8	1.3
その他	0.8	0.9	0.8	1.3	1.1	(-)	(-)	0.9	2.5	1.3	(-)
無回答	0.2	0.4	(-)	(-)	(-)	0.6	(-)	(-)	(-)	(-)	0.7

問16 あなたは、三河山間地域の公益的機能や伝統文化を維持する活動に参加することについてどのように思いますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	485	236	249	147	185	153	69	107	81	77	151
すでに参加している	1.6	3.4	(-)	1.3	0.5	3.3	(-)	1.9	(-)	2.6	2.6
機会があれば参加したい	32.2	30.9	33.3	34.7	29.7	32.7	37.7	32.7	32.1	26.0	32.5
関心はあるが参加は難しい	52.8	53.4	52.2	49.0	56.8	51.6	44.9	54.2	45.7	58.4	56.3
参加したくない	3.9	3.8	4.0	4.1	4.9	2.6	1.4	2.8	7.4	3.9	4.0
わからない	8.5	7.2	9.7	10.2	7.6	7.8	14.5	8.4	12.3	9.1	3.3
その他	0.8	0.9	0.8	0.7	(-)	2.0	1.5	(-)	2.5	(-)	0.7
無回答	0.2	0.4	(-)	(-)	0.5	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	0.6

問17 問16で1または2と答えた方に質問します。どのような活動に参加してみたいですか。

(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代 以上
総数	164	81	83	53	56	55	26	37	26	22	53
間伐などの森林整備活動	30.5	42.0	19.3	37.7	28.6	25.5	23.1	35.1	30.8	31.8	30.2
棚田などの農地保全活動	31.7	34.6	28.9	47.2	28.6	20.0	15.4	35.1	34.6	36.4	34.0
メダカやホタルの生息環境の 保全などの生物保護活動	65.2	55.6	74.7	56.6	73.2	65.5	73.1	75.7	46.2	72.7	60.4
川の掃除などの環境維持活動	25.0	22.2	27.7	24.5	19.6	30.9	30.8	10.8	53.8	18.2	20.8
消滅の危機にある伝統文化の 維持活動	44.5	37.0	51.8	41.5	44.6	47.3	42.3	51.4	50.0	36.4	41.5
道普請や草刈などの集落維持 活動	14.6	19.8	9.6	22.6	8.9	12.7	11.5	5.4	19.2	9.1	22.6
わからない	3.7	3.7	3.6	5.7	1.8	3.6	3.8	2.7	(-)	9.1	3.8
その他	3.0	4.9	1.2	1.9	1.8	5.5	(-)	8.1	3.8	(-)	1.9
無回答	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

平成20年度第1回県政モニターアンケート報告書

「山村振興対策」
平成21年2月発行
愛知県知事政策局広報広聴課
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話(052)954-6169(ダイヤルイン)

この冊子は、再生紙を使用しています。

